愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(一日十五日)發行●電話番町千七百五十五番●同五百廿番●郵送無料●振替貯金口座東京壹壹弐一番

定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園內愛國婦人會●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹內眞三

明治四十四年二月十一日發行

Feb. 11. 1911.

大和婦人の心得

本年宮中御講書始めに當り兩陛下に國書進講の榮を辱ふしたる

猪熊夏樹氏談

私が從來女子敎育の方針と致して居るのは、外柔にして內剛なりと謂ふことであります。婦人は兎角萬般の起居動作が物柔かでなくてはなりません。故に古より女のことを手弱女とも云ふのであります。女が外面で剛々として居るのは誠に賞美すべきことではありません。

然らば、柔は女の性質の全部であるかと云へば、左樣では無い。則ち柔ばかりでは不可ぬ。外は至極物柔かであるが、內には鐵火も枉げ得ぬやうな剛い心があつて、一旦緩急ある場合には、此の剛い心を發揮して之に當らねばなりませぬ。

古句に

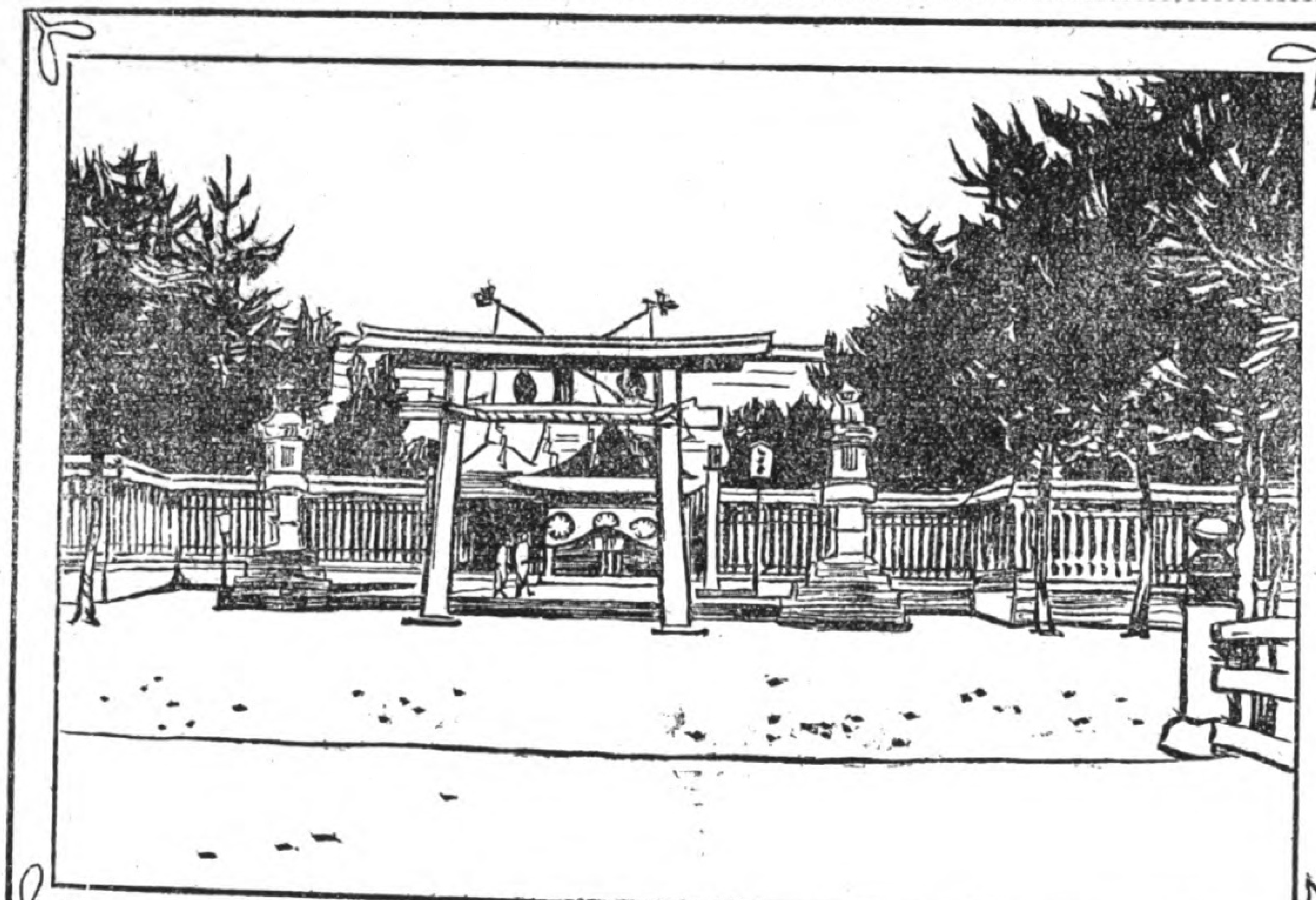
根をしめて風にまかせる柳かな

と云ふのがあります。此の句は申す迄もなく外柔內剛の意味を歌つたのでありますが、女は總て斯くあつて貰ひたいと思ひます。

畏れ多けれど、我が大日本帝國の皇祖天照大御神は、實に柔和な女神であらせられましたが、一旦事ある折りに當つては、非常の御勇氣を御揮ひ遊ばされました。其の一例を擧げますれば、かの素盞嗚尊が父の尊の命に悖り、海國に赴き給はずして、高天原に上られし時、大御神には、尊が高天原を奪はんとの邪心を抱いてお出で遊ばすのでは無いか、と云ふ御疑ひから、頭髮を解き武裝を遊ばされ自ら弓矢を持ち太刀佩きて尊をお迎へ遊ばされました。其の御姿の如何に男々しくましましたかを、古事記に就て見ますると、

爾天照大神聞驚而詔、我那勢命之上來由者、必不善心、欲奪我國耳、即解御髮、纒御美豆羅而、乃於左右御美豆羅、亦於御鬘、亦於左右御手各纒持八尺勾之五百津之美須麻流之珠而、曾毘良邇者負千入之靭、附五百入之靭、亦所取佩伊都之竹鞆而、弓腹振立而、堅庭者、於向股踏那豆美、如沫雪蹶散而、伊都之男建踏建而、待問云々

とありまして、實に當時の大御神の御姿には、武勇凜乎として男子も及ばず鐵火も犯す可らざる御樣子が現はれて居るのであります。



大和橿原神社

又、神武天皇陛下が、日向の高千穗峰をお出ましになり、遙に東征の途に御着き遊ばされ幾多の御辛苦をなめさせられましたのは申す迄もなく、皇國の爲め人民の爲めに國を治めむとの難有き御思召に出づるのでありますが、大和地方には、勇悍なる豪賊數多ある由を御聞き遊ばされ、吉備の高島に皇居を定め、此處で八ヶ年の間討伐の御準備を遊ばされました。遂に進んで大和に入り長髓彥を御征討遊ばす折には、女軍則ち婦人の軍隊をも御組織遊ばされました。その女軍の戰ひたる地は、今日尙女坂と呼ばれて、當時男軍の戰ひたる男坂の名と共に、大和國磯城郡と宇陀郡との中間に殘りて居ります。獨り我軍のみでなく、賊軍中にも女軍の編成があつたやうに記錄には見えて居ります。畢竟、神武天皇陛下は、斯く女軍までも編成遊ばされ、遂に强賊を滅ぼし、後大和國畝傍山の傍り橿原宮に於て即位の式を御擧げ遊ばされました。これが實に我國紀元の始まりで、今から二千五百七十一年以前の今月今日のことであります。

古の詞に、女に三從あり、家に在りては父に從ひ、嫁ぎては夫に從ひ、夫死すれば子に從ふ、と云ふことがありますが之は誠に好箴戒で、婦人は是非斯うなくてはなりません。けれども、前にも申し上げました通り、一旦國家に緩急ある場合には、女だからとて凝として居ることは出來ません。必らず其の剛なる點を十分に發揮して、國家の爲めに盡す所がなくてはなりません。愛國婦人會の會員諸姉は、いざ國家の一大事と云ふ折もあらば、神武天皇時代の婦人に劣らず、女軍を編成して敵軍を討伐する程の勇氣は、必らずお有でありませう。

併し、夫れは有時の日に於てこそ、平時にありましては、神代の古より、內を守ると云ふことが、婦人の責務となつて居りますので、先づ十分に家政を整へ、かの戊申詔書中にも、華を去り實につくとある如くに、勉めて奢侈贅澤を避け、儉約を專らとし、尙其の餘力を以て、慈善事業の如き有益なることに努力せられんことを希望致すのであります。

本號主要目次

▲大和婦人の心得……猪熊夏樹
▲雲井の御影……
▲敎育に關する勅語(四)……秦政二郎謹解
▲敎育座談:女子高等師範學校長 中川謙二郎
▲交際上に於ける日本婦人の長所と短所:三谷民子
▲家庭と流行……法學博士 小川滋次郎
▲米國に於ける家政科の現狀と日本婦人に對する希望……女子大學敎授 井上秀子
▲日英博覽會內婦人部の實況……秋元春朝
▲家庭に於ける婦人の副業を起すの趣意書……
▲箏曲評釋松の下風(二十)……池邊義象
▲東京に於ける史蹟と老樹(二)……戶川殘花
▲婦人の鏡……千葉 大岡美響子
▲小說風馬牛(六)……圖 鯛
▲其他講談應募和歌俳句等

◉本紙(附錄共)十八ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

孝明天皇祭

去る三十日は孝明天皇祭とて宮中皇靈殿に於ては午前八時より朝の御次第を行ひ十時より御親祭に移り山内掌典奏樂中に御開扉佐伯掌典菅野掌典補等神饌及御幣物を進獻す　聖上陛下出御御拜在せらるゝ處御都合に依り岩倉掌典長に御代拜仰附けられ同掌典長は諸員の起立中に御拜御玉串を奉り次に　皇后陛下御代拜山内皇后宮主事の御拜あり次に東宮殿下には親しく御玉串を奉りて御拜あり夫より大勳位、親任官、同待遇以下勅任官麝香間、錦鷄間兩祗候等順次に拜禮を爲し再び奏樂中に御幣物及神饌を撤し御閉扉を行へり正午更に御開扉伯、子、男爵從二位以下夫々參拜あり午後五時より夕次第に入り岩倉掌典長祝詞を奏し續いて御代拜を勤め次に樂師の御神樂あり右にて御祭典は終りたり。尚又京都東山なる御陵前に於ては勅使久我男爵を差遣はされ御祭典を行はせらる。

高齢者に恩賜

畏き邊りにては去る三十一日左記八十歳及び七十歳以上の高齢者に對し御紋章附金盃一組及び酒肴料一封宛を御下賜相成りたり

正二位子爵北小路隨光、同交野時萬、正三位久松勝成、從三位松平直己（以上八十歳）

正二位大勳位功一級公爵大山巖、從一位勳一等侯爵淺野長勳、從二位勳二等伯爵鷲尾隆聚、從二位勳一等子爵花房義質、從二位勳六等子爵三室戸和光、正三位勳一等男爵辻新次、同尾崎三良、同野村素介、正三位勳二等男爵岡内重俊、同松村淳藏、正四位勳三等男爵武井守正、正五位勳六等男爵島津久明（以上七十歳）

沖縄へ御救恤

客年十月上旬沖縄縣下暴風雨の爲め被害尠からざる旨聞召され　聖上皇后兩陛下より罹災者御救恤として去る三十日金一千五百圓御下賜ありたり

皇后陛下烈風中に御觀戰遊ばさる

第一艦隊の一等戰艦香取及巡洋艦音羽の兩艦は去る二日駿河灣頭靜浦の沖合に壯烈なる對抗演習を行ひ桃郷御用邸に御避寒中なる　皇后陛下の御覽に供したるが、當日は朝來晴天なりしも西風強く海上波荒れて穩かならぬ天候をも厭はせ玉はず　陛下には午前九時御用邸裏の砂原に設らへる假御座所に出でさせられ御熱心に艦隊の運動を御覽せられたり。又皇孫光宮殿下にも西御殿裏の石垣の上に出で立たせ給ひ小國旗を打ち振り〱いと御活潑に御觀戰遊ばされたりと。

獨皇儲殿下御來遊中止

清國に黑死病流行する爲め獨逸皇太子殿下には支那及日本御訪問を御中止相成り印度より直に御歸國遊ばさるゝ事となりたるが、聖上陛下には最と遺憾に思召さるゝ旨御諚あらせられし趣洩れ承る

東宮妃殿下の御哀悼

去月二十七日、京都に於て逝去せられたる、本派本願寺前法主大谷光瑞伯夫人籌子の方（享年三十歳）は、九條家の御出にて、東宮妃殿下の御姉君に當らせらるる事は汎く人の知るところなるが、曩に御病症重き由を聞こし召すや、妃殿下には殊の外に御心痛遊ばされ、本願寺に御使を立てさせられ『一日も早く全快を祈る』との優渥なる御見舞の詞を賜りたるのみか、御菓子折並に滋養品等の御下賜ありたるに、其の甲斐もなく逝去せられたるより、妃殿下には御名代として舊女官錦織隆子を御差遣あり、克く死顏を見て參れよとの御意ありたりと漏れ承る日頃御親情深くまします妃殿下の、如何に御姉君の訃を御哀悼遊ばすらん、察し奉るだに畏れ多きことの極みと云ふべし

日々の御こと

▽一月十六日（月）晴　皇后陛下沼津御用邸へ行啓遊ばさる◎有栖川宮同妃殿下より大磯なる故伊藤公未亡人に對し御見舞の御使者を遣はさる

▽同十七日（火）長き邊より軍艦安藝、島津男爵、和蘭名譽領事ベッカル、朝鮮總督府中學校其他内地十八校へ御寫眞の御下賜あり◎竹田宮殿下千葉縣下へ御出張◎梨本宮妃殿下名古屋へ成らせらる

▽同十八日（水）晴　宮中歌御會始め◎歌御會の恩召を以て高崎御歌所長以下へ御下賜品あり◎北白川宮大妃殿下葉山御成

▽同十九日（木）晴　竹田宮妃殿下若宮御同伴小田原御用邸に御避寒あらせられたり

▽同二十日（金）雪　特別裁判事件に付き桂首相外三大臣待罪書を闕下に捧呈したるか本日優渥なる御沙汰を賜はる

▽同二十一日（土）晴　泰宮内親王殿下鎌倉御用邸に御避寒あらせらる

▽同二十二日（日）晴　東宮殿下新宿御苑に成らせらる◎閑院宮殿下小田原御用邸へ御成◎長き邊より寺内總督へ特に御使を以て御下品あり

▽同二十三日（月）晴　竹田宮殿下千葉縣より御歸京遊ばさる

▽同二十四日（火）晴　閑院宮妃殿下小田原御用邸より御歸京遊ばさる

▽同二十五日（水）晴　宮中月次御歌會、御兼題「海眺望」御課題「冬林」「溫泉」

▽同二十六日（木）晴

▽同二十七日（金）晴　獨逸國皇帝御誕辰祝日に付我陛下より鄭重なる御祝電あり◎東宮妃殿下御姉君御逝去に付別項の如く御服喪あらせらる

▽同二十八日（土）雪　竹田宮殿下小田原御成◎閑院宮殿下若宮姫宮方御同伴同じく小田原御成、北白川宮大妃殿下葉山御用邸へ成らせらる

▽同二十九日（日）晴　皇太子殿下御乘馬にて府下代々木御料地に成らせらる

▽同三十日（月）雨　孝明天皇祭◎閑院宮殿下若宮姫宮御同伴小田原より御歸京遊ばさる◎北白川兩姫宮殿下葉山より同じく御歸京

▽同三十一日（火）雨　沖縄縣下暴風被害に對し別項の如く御下賜金ありたり

京都銀閣寺の雪

東宮妃殿下御服喪

別項の如く大谷伯夫人籌子の方長逝せられたるに付き、東宮妃殿下には左の如く御服喪あらせらるゝ事となれり

第一期（二十日間）　自一月二十七日　至二月十五日

第二期（七十日間）　自二月十六日　至四月二十六日

教育に關する勅語（四）

秦政二郎謹解

亦實ニ此ニ存ス、は其れも亦實は皆全く此の國體の精華を本源とすることで、只だ學問技藝を習ばかりが教育では無いと仰せられたのは、吾々の祖先である皇國の臣民が、何事を措いても、大君の御爲め國の爲めには、私の情を克く制へて誠忠を盡し、又克く人の道を行ひて、身を立て家を興し理めて、父祖に孝行した事實を御稱美遊ばされ、猶ほ吾々の祖先が、昔から代々億兆とも云ふべき多くの數であるが、其が皆代々一人の心のやうに一致して、忠孝の美い風習を濟し來つた事は、此れが取りも直さず我が日本の國體の精華となつたのであるから、上下貴賤に拘はらず、父祖が子孫を教育するにも、其の手本とし根元とする所も、矢張り此の精華であるぞ、との聖示であるやうに察し奉る。

さて、其の忠節を盡した吾々の祖先は如何いふ狀態であつたかと申すに、憲法を御發布になつた時の大詔の中に、「惟ふに我が祖宗は臣民の協力輔翼に依つて、我が帝國を肇造になり、之を無窮に垂されだ、此れは我が祖宗の威德と臣民の忠實勇武で國を愛し、公に殉したのとで、此の光輝を貽したのである」と仰せられた如であります。其の忠といふに、常道の忠と權道の忠とがあつて、常道の忠は、臣民の中に、官吏もあれば、軍人もあり、醫師もあれば、學者もあり、商人もあり、農家もあり、其の外種々の實業家もあるが、各自の本業職分を忠實に努め、自己の身を修めて家庭を團欒し、父母には孝行して兄弟は友愛ひ、夫婦は和合し、朋友には信義を以て交はり、博く衆人を親愛にし、又公衆の利益を廣め、社會の世務をも開放て、能くこの國の法憲に遵ひ、租税は怠らずに納め、兵役には勇ましく服め、政府に厄介を累けず、他人の妨をせず、親は親らしう子は子らしう、兄弟姉妹は兄弟姉妹らしう、朋友は朋友らしう、男は男らしう、女は女らしうして、神隨の道ともいふべき皇祖皇宗の御遺訓と各自の分とすべき祖先の遺風とを恪守つて、之を實行する時は、自己の身も立ち家も理まり、直接間接に皇室の大業を輔翼し奉る事ともなつて、君國に忠義なのであります。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育座談

●國家を中心とせる敎育

東京女子高等師範學校長　中川謙二郎

世界統一の夢が實現し、地球が一元首の下に支配される時代が到來したならば兎も角、各國悉く分立して、其の國體を異にし、歴史を異にする以上は、其の國民道德の基礎も亦多少の差異あるべきで、從つて、其國に特有なる國家的敎育の必要が存在する。時の如何を問はず、苟も全く國家を離れて敎育ある道理は無いと云てもよろしいのである。國家觀念と國民道德とを中心として、現代の文明的進歩的敎育の隆昌を禱るのである。

●青年子女に悲觀させるな

今は斯うであるが昔は斯うであつた、昔は善かつたが今は惡い、と無暗に昔の事を賞賛し今を嘲つて、子弟の心中に古を偲ぶの情を起さしめ、現代を悲觀させる父兄がないとは言はれぬ。好ましく無いことである。成る程、今よりも優つたことが昔あつたことは事實であるかも知れぬが、人民の幸福の上からは勿論社會萬般の上から見ても、現代は慥に古より進歩發達して居る。古を忘却為てならぬことは申す迄も無いが、同時に現代を悲觀させてはならぬ。古に見て益々奮勵向上する處がなくてはならぬ。例ば、吾々の今日あるは祖先の賜である父母の賜である此の高恩に報ゆる爲には自分は祖先よりも父母よりも一層優つた人物にならねばならぬ。そして社會公共の爲に貢献する所がなければならぬとの覺悟を確し持たせたいのである。夫れが則ち孝であり、亦忠であると云ふやうな、積極的な奮發心を子弟に起させるやうせねばならぬ。何を苦しんで、あたら青年子女をして古を偲び現代を悲觀させるやうな愚な敎へをしやう。

●家事の研究に就て

家事敎育のことに就て、種々と專門の人から説を聞くと諸學校に於ける家事科の如きも、或は必要なる事項にして未だ課せられぬのもあるし、又左まで必要のないもので多少の時を費して居るのもある、又敎育上調査研究を要することも少なくないようであるから家事料受持の敎員が集合し、協力一致して調査研究し、之等の點を改良して益々發展進歩せしむる事は、稍急務であらうと思ふのである。

此の主意から、自分は個人の資格を以て昨年初秋の頃から同志と共に家事研究會の設立を勸奬し、年末に至つて始めて第一回の集會を開催した。自分が、將來此の會の愈隆盛に趣かんことを希望するのは勿論であるが、獨り敎員のみに限らず、各家庭の主婦が時々集合して、互に家政上の智識を交換し、研究するのは望ましきことではあるまいか。

蓋し日々主婦の手によつて家政上に費消される金額は、單に東京市内のみにしても決して少額ではあるまい。之を日本全國に見れば誠に夥大なものであらう。此等の金を出來得るだけ有效にしたいのである。成るべく小額を消費して成るべく多大の効果を納むるやう努力し研究することは、或は國家經濟上當今の急務であらうと思ふのである。

紀元節の朝　因

日本婦人の交際上の短所と長所

女子學院學監　三谷民子

▲交際に氣兼がない

私が西洋の婦人と多くお交際を致しましたのは、彼地の學校へ在學中で、云はば書生時代の事でありますから、お尋ねに就て御話申上ますのは、どうかと存じますが、然し歐米では交際と云ふ事は書生時代から盛んに行はれますし又奬勵も致します、で交際の卵から攻究致しました樣なもので御座ります。扨西洋婦人の交際振りと日本婦人の交際振りは、根本から趣きを異にして居る樣に感ぜられます。日本の婦人はお互同志に交際するに致しましても、一寸口を利くにも、斯う言つたらあ思はれはしまいか、と云う樣な心配があります。又聞く側の方でも、あの人はあゝ云ふけれども、さうではなからうと云ふやうな風に、言葉の裏々と想像して往く癖があります。人を訪問致しますにしても、應接間に通りますと、早く挨拶を濟まして歸りたい氣になりますが、又主婦の方でもお話よりも只眞の形式に茶やお菓子を出して少しも温かい處がない樣で御座います。私は生徒にも常に申すのでありますが、日本婦人の何々親睦會などと申すのに出席致しますると、歸路には必らず不平の聲が洩れる樣でありますが、是は眞實に親睦會の樂しきものであり又眞實に睦ばねばならぬと云ふ心を持たないで、只々自己本意で出席致しますので、不平も起る樣な譯、又發起人側でも如何にして樂しく此の會を終了せしめ樣か等の研究はせずに、只其の會費丈けの事をすれば足れり位に思つて居ますので、折角の親睦が親睦にならないで終るのです。言ひ換へれば日本婦人は交際上に無邪氣でない、だからお交際に大へん骨が折れますが、そこに往と西洋婦人は

▲天眞爛漫

でありますから、言ひたい事は遠慮なく言ひます。話の裏面を窮つて惡い想像する樣な事を致しません、日本婦人ならば何と云ふ無遠慮な人だらう、子供らしい言をいふ人だと思ふに極つて居ることを、西洋人に云つても平氣なもの、それで交際が愉快に圓滿に往きます。一面識の人と舊知の友とは、元より親疎の區別はありますが、西洋人は相手方にそれが眼前明瞭と好く感ぜらるゝ樣な擧動を決して致しません。それが交際の花とでも申す處でありませうが、併し一面識の人にも温い情味を感ぜしめるのは、只巧妙な交際法ばかりではなく、どこかに寛やかなる優さしい心が存するから從て形にも現はれ對座する人にも快感を與へることが出來るのであらうと思はれます。かく西洋婦人の交際に巧みな事は實に感心ですが、從て交際に忙はしい事は又甚だしいものであります。學校の生徒間でさへ何年生が何曜何年が何曜と面會日を定めて、御互に訪問仕合ますし、其れにやれセクスピヤ會、またやれ何會と實に目の廻る程ですから、まして上流社會になりますと、實に目が廻る位の事ではないと存じます。

▲梅の花と薔薇の花

日本婦人と西洋婦人とを花に例へて見ましたら梅の花と薔薇の樣だと思はれます。日本婦人の柔和で奥ゆかしい氣質は、梅の馥郁たる芳香を遠くから匂ぐ如く、西洋婦人の活潑で生々した樣子は、薔薇に似て居るではありませんか。

●交際上の注意

文學博士　元良勇次郎

一、讀心作用　讀心作用と申しますのは、人の心の中を讀むことであります。これは交際するには極く必要なことでありまして、常に人の心の中をよく注意して居れば、自然其人の氣がわかつて、交際上、至極工合がよろしいのです。

二、同情と反情　次に、この同情と反情ですが、よく犬や猫が、自分を好きな人を、よく知つて居るといひますが、それは眞實で、犬を好きな人がそのそばへ行くと、尾をふつて嬉しがつて居る。猫もその通りで、好きな人が來ると、ニヤア〳〵いつて、甘へて居ります。これはどういふ理由かといふに、つまり、犬や猫を好きといふのは、云ひかへれば、犬や猫に同情を持つて居ることであつて、此同情を持つて居る人が、そのそばへ行けば、たとへ其時、特に可愛がらなくとも、其人の顔に同情が現れてをるものですから。それが犬や猫にわかるのです。人と交際するにも、やはり其の通りで、相互の人が同情をもつて居たならば、自然其の人とは親密になるものです。此の反對に、もし反情をしたならば、如何であるか、犬や猫は、其人の顔を見たのみでさへ、すぐに逃げていつてしまひますし、人と交際をしましても、斯樣な人は、いくら口先で、うまいお世辭をつかつても、其人の心の中の反情といふものが、自然顔に現はれてゐますので、なか〳〵お世辭でそれを打消すわけには參りません。

三、禮法　この禮法は、前申した同情さへもつて居たならば、不必要なものゝ樣に考へられますが、これを發表するには、是非禮法が必要であすます。要するに、禮法といふのは、同情を發表する機關と、いつてもよいでせう。すべて、交際するには、此三要件に注意を拂つたならば、和氣靄々たる交際が、出來得るでありませう。（講話の一節）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭と流行

法學博士　小河滋次郎

▲新流行の起りは貴婦人から
▲上流の侍女から賣笑婦
▲それは歐米の事
▲消極的罪惡

我國で新しき流行の起りは、幸にも、多く花柳界や俳優などの間にあるが、歐米では、不幸にも上流社會の婦人が新流行の動機となつて、其の餘波が中流下流の婦人に及んで居る。我國の如くに、流行が藝者や俳優から起るのも、決して賞美すべき事柄では無いか、起因が餘り金の無いところにあるので、從つて餘り金の懸らぬ流行であるけれども、歐米では前に述べたやうに、上流の富豪社會から起る事であるから、從つて特に金の懸る流行であるのに、夫れ以下の婦人も亦虚榮心に驅られて、無理算段をして之れに倣ふことゝなるので、遂に大なる惡弊を生ずることゝなるのである。

歐米では、隱れたる賣笑婦が澤山に居るが、其の墮落の系統を調査した中に、近來注目すべき現象が現はれて居る。此等賣笑婦の中には、商店や或は勸工場などに働いて居た賣子の婦人などが多いのであるが、此等の婦人は、自分の手腕に依つて定まつた收入が有り、又一面には職務以外の時間に自堕落な不規律な生活を爲して居る。その不仕鱈なところに、虚榮心が盛んにつけ込んで來るので、つい誤つて墮落の淵に陷る事となるのであらう。而し、賣笑婦中で一番大多數を占めて居るのは、商店の賣子で無く、實は上流社會に使はれて居た侍女や下婢等から墮落したのである。之は實に寒心すべき現象であつて、從來歐米の上流社會は、比較的に家庭が健實で、此の社會に使備されて居れば、安心だと思はれ居たのに、夫れが一變して斯の如き現象が起つて來たと云ふのは、上流の社會が腐敗し、其家庭が紊亂し來つた證據である。

これは畢竟上流社會の主婦が、常に裝飾に浮身をやつし、奢侈贅澤に耽つて居るので、之れに近侍して居る婦人は亦朝に夕に此の樣子を見て、己れも之れに倣ひ、こんな虚榮を爲て見たいと思ふ、併し通常の事を爲て居ては眞似も出來兼るので、遂にはいつそ節操でも賣つてと云ふ弱い心を起し、かう淺間しう墮落するのであらう。

我國では、幸に現在のところこの樣な惡現象は無く、上流の家庭は比較的健全で、その家庭の侍女などから墮落して賣笑婦に陷るものは尠く、否寧ろ絕無と云つても宜い程であるのは、悅ばしいことである。

併し、斯の如きは中流以上の家庭の主婦たる人に、十分の注意を拂つて貰はねばならぬことで、自分の金を自分が使ふに何も遠慮はいらぬ、思ふ儘に贅澤な裝飾も作り、奢侈にも長じて宜いと云ふのでは無い、夫れが一般社會の教育上他人に惡影響を與へ、前述の如き消極的罪惡を釀すものであるから、此の點よりするも、上流社會の婦人は、自ら流行の中心となつて得意然たるが如き、淺薄な、不健全な思想を脱し、可及的節約し、家庭の圓滿を計り、先づ自ら社會に模範を示すやう注意せねばならぬ。

我國の上流社會の如き、益々家庭を立派にして『自分の最愛の子女を上流の家庭に見習にさへやつて置けば、安心で確實だ』と云ふやうな考へを、一般社會に持たしむる位にあつて貰ひたいと熱望するのである。

口と財袋とは閉づるを善しとす　西班牙俚諺

はやりものはすたりもの　日本俚諺

米國に於ける家政科の現況と日本婦人に對する希望

（上）

女子大學教授　井上秀子

私は先頃米國のコロンビヤ大學に留學して、家政學を學び、歸途英佛獨等に遊んで、昨年歸朝致しました。家政學は歐洲でも大分盛んに研究されて居りますが私の見ましたところに依りますれば、米國に於て最も能く發達進歩致して居るやうで御座ります。

御承知の如く米國の大學校では、男女混交敎育を致して居り、男女共に同一敎室内で、同一科目の敎授を受けるのでありますが、特に婦人の爲めに家政學科が設けられ、卒業者には

▲家政學士

の稱號を與へることゝなつて居ります其上近頃は、學士以上家政學の薀奧を極むる爲めの諸般の準備も整ひ、最近の消息に依りますれば、博士號を與ふる事を得るまでに成たさうで御座ります。前述はコロンビヤ大學のことでありますが、米國の中部に於て、六千人からの生徒を有するシカゴ大學は、最も新しき設備を有し、敎師としては世界で有名なる學者も居り、眞に實力ある大學ですがこゝにも家政科の設備があります。又州立のカレーヂに於きましても、西部の州にあるものには、悉く皆家政科を課して居りますし、東部の州では、主に農科大學と關係を通じて研究され、矢張之れにも學士の稱號を與へることゝなつて居ります。

以上述べましたやうな有樣で、米國に於ける家政學は近頃著しく進歩致して居りますが、然らば

▲如何なる方法によつて

研究されて居るかと申しますと、先づ家政學が一個の統一したる學科として敎授される事は勿論でありますが、主に、

家庭化學と家庭美術

の二分科に分たれ、或は國民の生活を向上さすべく、社會上の見地から、研究する一分科を設けられることもあります。

家庭化學と云ふのでは、料理其他衣食住に對する化學、家庭經濟、病人の看護家屋の構造或は衞生等の事柄を化學上から研究し、家庭美術では、裁縫、美術的の縫ひ物、生活と美術の關係等から、衣服の染色法、室内の裝飾或は衣服の圖案法其他に分たれまして、此等の一個々々の學科が專門的に又科學的に研究されます。例ば、こゝに馬鈴薯の料理を致すとすれば、先づ馬鈴薯は如何にして生產されるか、如何にして廉價に賣捌き得べきか、如何なる養分を有するか、如何なる溫度を與ふれば最も滋養多くして又最も衞生に適するか等が、經驗あり學問ある堂々たる博士達に由つて導かれるのであります。

然らば此等のことが、唯單に敎室内で學理的に敎授されるのみかと申しますと左樣では無く、生徒は往々敎授の導に由つて、町に出でゝ物品の見方買ひ方等も敎へられ、實際の方面にも訓練を受けるのでありまして、斯くて國民の爲め、一家經濟の爲め、又衞生上の爲めに學理的に又最も實際的に、分業的に研究され、且つ今尙發展し改良されつゝあるのであります。

又家政科には本科の外に、主に師範部の設けがありまして、此の部では家政學を如何に生徒に敎授すべきか、其の方法を研究することゝなつて居りまして、此の部の卒業生は多く家政學の敎師として敎鞭を執るのでありますが、米國では、

▲小學校にも二三年級位から

家事科が實際に課せられ、又高等女學校では無論全學年を通じて課せられるのでありますが、何れも十分に功を奏して居ります。夫れは其の敎授方法が完全に研究されて居るからでありまして、例ばこゝに洗濯を致すとすれば、實際洗濯を致して生徒に其の方法を敎へ、同時に、衣服に附着する汚れや黴菌に付ては如何なる手段を執るか、染方は如何が等を洗濯を行ひながら生徒の頭腦に入るやうに敎へられるのであります。畢竟學理と實際とを、同時に、而して生徒に少しも六ケ敷しいと云ふ感じを起させず、容易く敎授されるのであります。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本婦人の副業の必要に就ては是れまで本紙上にて縷々說述したる處なるが、今般愛國婦人會馬屋原事務總長に於ても同感にて此問題を理事、評議員會に提出し種々調査を重ね熟議の結果先づ會員有志が手藝研究所を同會内に創設して家庭に於ける婦人の副業たる手藝を研究する事となれり、其主意書を揭ぐれは左の如し、又規則書其他詳細の事に就ては後日順次本紙に揭載すべし。

家庭に於ける婦人の副業を起すの趣意書

凡そ一國の富强は、國民の忠勇にして勤勉なる活動に基くこと言を俟たず、而して其活動は、素より男子のみに限るにあらず、國民の半數を構成せる女子も、亦之に加はらざるべからざるなり。抑も我國に於ける婦人の狀態を察するに、中流若くは其以上に於ける婦人の中には、日常の餘暇を徒費するの風、尙存するもののあるが如し。假とひ又然らざるも一國の富强に貢献するの用意に乏しく、勤勞を賤み浮華に流るゝの弊亦これなしと云可らず若斯の如きの弊風なしとせば邦家の幸何ものか之に加へむ。苟もこれありとせば、相戒め相勵みて、之を矯正せむことを圖らざるべからず、戊申詔書には國運の發展を期せむが爲に、上下心を一にし、忠實業に服し、勤儉産を治め、華を去り實に就き、荒怠相誡しむべきを宣し給へり。是れ國民全體の、夙夜服膺して、敢て違はざらむことを期すべき所にあらずや、今夫れ、我國民の生産力は、之を歐米列强に比して、尙著しく下位にあり。我等は詔書の大旨を奉體して、此缺陷を補ひ、肩を列强に比するの覺悟なかるべからず。而して之を實行するに當りて、當に男子の事業にのみ委せず、我等婦人も亦奮て活動する所あるべきなり然りと雖、婦人の體力は男子の如く旺盛ならず、隨て其活動も亦別種に屬するものとす。謹みて按ずるに、我邦歷代深宮に於て養蠶に御從事在らせられ、以て其業を奬勵し給へるは、蓋し深き思召のありて、存するものなり、我等婦人は、厚く之に鑑み、其思召に對揚し奉らさるべからず。又之を歐米列强國に照らすに、其の婦人は家庭に於ける副業に工夫を凝し、而して、其の工夫は努力となり努力は利潤を生み優に家計の一部を支持し得るのみならず、勤勞は神聖にして、職業に貴賤なしとの考は益其生産力を増加し、而して増加せられたる生産力は相集て一國の貿易額に顯著なる影響を與ふるもの甚だ多し我等は是に感ずる所あり。聊我國の富强に貢献せむが爲に、率先して家庭に於る副業を工夫し、以て婦人の愛國的活動を起さむと欲するの微衷禁ずると能はず。若し此活動にして諸方に起らば獨り邦家の慶事たるのみならず、愛國婦人會の事業も、亦正に永遠に維持擴張の途を得べきは、我等の信じて疑はざる所なり。抑愛國婦人會の目的は、實に其名に冠せる愛國の二字、能く其全豹を表明せるものにして、今現に忠死者遺族の救恤、及其子女敎養の事業に從事するは亦其意味を語れるものに外ならず。而して平和の繼續と共に、更に其手を延べて、憐れむべき者を救ふの方面にも向はむとせり、故に我等は、忠君愛國の結晶體たる愛國婦人會が偉大なる活動を成すに於ては歐米列强國の、婦人を凌駕し得べきは、今より之を公言するに躊躇せざるなり。然れば今愛國婦人會の會員八十萬人が、家族制度の下に在りて、各家庭の副業を興す時は、其影響は至大なるべく、又邦家の前途の爲に永遠に此會の事業を擴張して、其目的を遂行する途の開かるべきは、亦疑を容れざるなり。今試に、會員一致して副業を起すとせば其利蓋し五あり、國家の生産力に貢献する所は其の一なり。共通の興味と經營とを有するに至る結果として、會員の團結を固くするは其の二なり。家庭に於ける愛國的趣味を増加し、從つて家庭に尙武の氣風を涵養するは其の三なり。一家の餘力より、延て團體の公益に盡すの機會を得せしめ、從て愛國婦人會の如き、愛國的事業を主とせる會の基礎を確實にし、其活動に資すべき財源を扶殖するに至らしむべきは其四なり。將來の會員を養成し現在會員の志業を繼承し、眞に己れの力によりて、公共の爲に盡さむとするの婦人を得るに至るべきを以て、愛國婦人會今日の事業を、次代の後繼者に傳ふるに於て、憂慮なかるべきは其五なり。實に將來の會員は、今日の如く、主として名譽ある婦人を煩はすのみに止らず、令孃少女だも、尙其會員に加はりて、活動せしむるも不可なきなり。是れ、實は、將來に於けるのみにあらず今日に於ても、亦然りとす要するに、家庭に於ける副業は之を小にしては一家に勤勞の風を起さしめ、進で公共の利益を廣むるの餘裕を生じ、之を大にしては、國民全體の生産力を昂進せしめ、遂に國家の富强に資すること鮮少ならず。故に今日及將來に於ける活動は、蓋し愛國婦人會員の漫然看過すべからざる所なり而して又是によりて本會の根礎を安固ならしむるに至らば其效眞に偉大なりと謂ふべし。今や列强擧て平和の戰爭に勝利を得むと苦心するの秋に當り、我國の婦人たる者、能く固有の婦德を發揮し、邦家の爲に、奮起力を竭す所なかるべからず、乃ち聊所思を披瀝して、副業の普及を慫慂し、之に附するに愛國婦人會手藝研究所規約を以てし、敢て大方の贊助を仰ぎ、併せて其盟約を固くせんことを冀ふと云爾。

愛國婦人會有志手藝研究所
發起者

●何んな半襟が流行る

▲色合は薄くなる　昨年の今頃はお納戸だの茄子色だのと云ふ濃い艶が持て囃されて居たが本年は夫れと反對で追々薄い色に移つて行く其結果今迄紫紺地の濃厚な好みの人々でも青味や茶味の加はつた色を歡迎する樣になり中にも一般の好みとしては昨年來流行りかけて來た靑磁色が最も勢力を占めて居る

▲好みの違た有職　模樣は相變らず有職風の大模樣であるが之れ迄普通に用ゐられた有職よりも大柄の有職へ小花の模樣を交へたもの畢竟澤山の小花を集めて全體で一つの模樣に見せると云ふ風のものが最も喜ばれる刺繡は引續き全盛でするが縫がけ縫などの澁いのに限る又絞りは特に好ゐ向があつて其方へは矢張り相當に出て居る

▲選擇は斯の通り　人それぞれ好みもあり又容姿や氣合によつて色氣や模樣も相違が出來るから一概には云へないが先づ二十歲前後の婦人向としては紫紺地よりも靑や茶の加味した輕いものが第一で意氣向の頸の長い人ならは黑地に紅又は洗朱の總模樣の縫織などは相變らず水際立つて見える廿四五歲向としては藤鳩羽、吉野納戸それから一般に鼠系のもの中にも八雲鼠などが歡迎される三十歲前後には淡雪鼠、都鼠、業平鼠、朧鼠など主として鼠の澁いのが相應しい

▲石川支部總會

來る四月三日神武天皇祭日を期し愛國婦人會石川支部に於て支部會員總會を開催する筈にて總裁殿下の御台臨を仰ぎ度き趣該支部長より上申せられたるより當時御伺ひ中なるが多分御聽許あらせらるゝ事と奉察す。

▲隆鼻術　秘密に流行をして、世間に擴まりました美顏術と云ふものが、此頃では餘程人の耳目に馴れて來た結果か知りませんか、又一歩進んだ隆鼻術と云ふものが、竊に世間に行はれて來た樣に思ひますけれども其の整形法は却々困難なもので、よしや信頼すべき技倆の施術者に治療を受けたとしましても、不幸にして他日注射藥の中毒を起せば、鼻の型は生來のそれよりも、更に見苦しいものにならぬと限らぬと某醫師の話を其のまゝ御紹介いたします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉朝鮮委員本部規則改正

愛甲第百二十九號

愛國婦人會朝鮮本部規則左ノ通リ定ム
但シ從來ノ愛國婦人會朝鮮委員本部規則ハ廢止ス

明治四十四年二月三日
愛國婦人會長子爵夫人　岡部坻子

◎愛國婦人會朝鮮本部規則

第一條　愛國婦人會は朝鮮に愛國婦人會朝鮮本部を置く

第二條　愛國婦人會朝鮮本部を朝鮮總督府所在地に支部を道所在地に置く
支部は必要に應し道所在地以外便宜の地に置くことを得
支部の管轄區域は會長の承認を經て本部長之を定む
支部は其所在地名を冠稱す
支部は其管轄區域中便宜の地に委員部を置くことを得
委員部は其所在地名を冠稱す

第三條　朝鮮本部に顧問及相談役各若干名を置く顧問は總裁之を囑託し相談役は本部長の推薦に依り總裁之を囑託す

第四條　朝鮮本部に左の職員を置く
本部長　壹名
本部長は會長の意圖を承け部内一切の會務を統理す
本部副長　若干名
本部副長は本部長を補佐し本部長事故あるときは一名其職務を代理す
評議員　若干名
評議員は本部長の諮問に應して重要の事項を審議す
主幹　二名
主幹は本部長の命を受け庶務會計を主掌す
事務員　若干名
事務員は上長の命を受け事務に服す
事務の都合に依り事務委員、雇員若干名を置くことを得

第五條　支部に顧問を置く
顧問は本部長の推薦に依り總裁之を囑託す

第六條　支部に左の職員を置く
支部長　壹名
支部長は本部長の命を受け各所定の區域に從ひ部務を處理す
支部副長　若干名
支部副長は支部長を補佐し支部長事故あるときは一名其職務を代理す
幹事　若干名
幹事は支部長の命を受け庶務會計の事を掌る
事務員　若干名
事務員は上長の命を受け事務に服す
事務の都合に依り事務委員、雇員を置くことを得

第七條　委員部に顧問を置く
顧問は本部長の推薦に依り會長之を囑託す

第八條　委員部に左の職員を置く
委員部長　壹名
委員部長は支部長の監督を受け其所轄區域内の部務を處理す
委員部副長　若干名
委員部副長は委員部長を補佐し委員部長事故あるときは一名其職務を代理す
委員　若干名
委員は委員部長の求に應し部務を商議し又部内の維持擴張を勉むるものとす
事務員　若干名
事務員は委員部長の命を受け事務に服す

第九條　本部長は總裁之を囑託す
本部副長、評議員は會長の推薦に依り總裁之を囑託す
支部長は本部長の推薦に依り總裁之を囑託す
支部副長、委員部長、委員部副長は本部長の推薦に依り會長之を囑託す
支部幹事、委員部委員は本部長之を囑託す
本部主幹、事務委員は本部長之を囑託し事務員は本部長之を命す
支部、委員部事務委員は本部長之を囑託し事務員は本部長之を命す

第十條　支部及委員部は必要に應し協贊員を置くことを得協贊員は本部長之を囑託す

第十一條　評議員、幹事、協贊員、委員の任期は二箇年とす但重任することを妨けす

第十二條　朝鮮本部管掌の事項左の如し
一　本會の趣旨を普及せしめ有志者を誘導して會務の擴張を圖ること
二　入會者に協約狀及徽章を交付すること
但一時出金者並に年賦義務を終りたるものには終身會員認定狀並に紅組を添付するものとす
三　男女に拘はらす一時七圓以上出金者に贊助證並に贊助員章を交付すること
四　有功章謝狀贈與規則に照し定數の寄附金又は定數の會員紹介者に相當の賞狀及有功章を贈與すること
但本項寄附金又は會員紹介に準する功績者に賞狀及有功章贈與の場合は其事實を具し會長に申請すへし
五　金五拾圓以下の寄附者に謝狀を與ふること
但會員寄附せざるも功勞顯著と認めたるものには謝狀を與ふることを得
朝鮮本部は前事項の外會長の承認を經部費を以て朝鮮在留陸海軍人、遺族、傷病者の慰問救護及會務擴張上必要なる事項を實行することを得

第十三條　本規則に規定せさる事項は愛國婦人會支部規則第十條以下を準用す

第十四條　朝鮮本部及支部事務細則は本部長に於て便宜之を定め會長に報告し承認を受くるものとす

附則

第十五條　本規則は發表の日より之を施行す

愛甲第一三〇號

今般本會朝鮮本部規則改定ニ就テハ諸規則中「韓國委員本部」トアルヲ總テ「朝鮮本部」ト改正候條此段及御通牒候也

明治四十四年二月三日
愛國婦人會長子爵夫人　岡部坻子
各支部長宛

◉囑託

◉朝鮮本部職員

本部長	山縣政務總監夫人	山縣隆子
本部副長	石塚取調局長官夫人	石塚忍子
仝	兒玉會計局長夫人	兒玉澤子
仝	小宮前宮內府次官夫人	小宮泰子
	大屋鐵道局長官夫人	大屋敦子
顧問	有吉總務部長官	有吉忠一
同	宇佐美內務部長官	宇佐美勝夫
同	藤田總督府醫院長	藤田嗣章
	兒玉總督府秘書官	兒玉秀雄
相談役(事務)	會計局長伯爵	國分象太郎
同	人事局長	小原新三
同	地方局長	入江海平
同	外波大佐夫人	外波美香子
評議員	俵土地調查局副總裁夫人	俵松子
同	津輕前宮內府書記官夫人	津輕照子
同	小松外事局長夫人	小松壽子
同	國分人事局長夫人	國分琴子
同	渡邊高等法院長夫人	渡邊たつ子
同	國分檢事長夫人	國分峰子
同	城控訴院長夫人	城いち子
同	三宅判事夫人	三宅仲子
同	鈴木司稅局長夫人	鈴木鈴子
同	菊池殖產局長夫人	菊池菅子
同	小原地方局長夫人	小原縫子
同	村上前宮內府事務官夫人	村上寬子
同	渡邊警視夫人	渡邊谷子
同	宇佐川東洋拓殖會社總裁男爵夫人	宇佐川種子
同	井上東洋拓殖會社理事夫人	井上八重子
同	道家東洋拓殖會社技師夫人	道家千代子
同		中村いせ子
同	山口商業會議所長夫人	山口龜子
同		京口貞子
同	古城京城民團長夫人	古城鼎子
同	佐々木醫學士夫人	佐々木春尾
同		木島駒子
同	峯尾民團助役夫人	峯尾錦子
同	朴義秉夫人	朴洲卿
同	中樞院顧問伯爵李完用夫人	趙氏
同	男爵李載克夫人	李嘉永
同	中樞院顧問伯爵李址鎔夫人	李鈺卿
同	鶴尾鐵道局技師夫人	鶴尾咽江子
同	小城鐵道局技師夫人	小城高子
同	稻垣鐵道局技師夫人	稻垣操子
同	横井鐵道局技師夫人	横井つぎ子
同	黒澤鐵道局技師夫人	黒澤良子
同	三本鐵道局參事夫人	三本喜具子
同	司法部長官夫人	倉富宣子
同	學務局長夫人	關屋衣子
同	愛國婦人會龍山功勞者	兼古綱子

◉支部長並顧問

清洲支部長	鈴木道長官夫人	鈴木みき子
同顧問	道長官	鈴木隆
公州支部顧問	同	朴重陽
仝州支部顧問	同	李斗璜
光州支部長	能勢道長官夫人	能勢英子
同顧問	道長官	能勢辰五郎
大邱支部顧問	同	李軫鎬
普州支部顧問	同	香川輝
海州支部顧問	同	趙羲聞
春川支部長	李道長官夫人	李梅
同顧問	道長官	李圭完
平壤支部顧問	同	松永武吉
義州支部長	川上道長官夫人	川上縫子
同顧問	道長官	川上常郎
咸興支部顧問	同	申應熙
鏡城支部顧問	同	武井友貞

右二月三日總裁殿下より各頭書の通り御囑託相成りたり

◉委員部長并顧問

釜山委員部長	若松府尹夫人	若松りう子
同顧問	府尹	若松兎三郎
仁川委員部長	久水府尹夫人	久水和歌子
同顧問	府尹	久水三郎
元山委員部長	村地府尹夫人	村池富士代子
同顧問	府尹	村池卓爾
木浦委員部長	橋本府尹夫人	橋本敏子
同顧問	府尹	橋本豐太郎
群山委員部長	天野府尹夫人	天野郡子
同顧問	府尹	天野喜之助
馬山委員部長	三增府尹夫人	三增友子
同顧問	府尹	三增久米吉
鎮南浦委員部長	本田府尹夫人	本田いわ子
同顧問	府尹	本田常吉
新義州委員部長	深川府尹夫人	深川靜子
同顧問	府尹	深川傳次郎
清津委員部顧問	同	楠野俊成
京城委員部顧問	國	大庭寬一
大邱委員部長	竹崎府尹夫人	竹崎郷子
同顧問	府尹	竹崎六次郎
平壤委員部長	秋本府尹夫人	秋本喬子
同顧問	府尹	秋本豐之進

右二月三日會長より各頭書の通り囑託せらる

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日英博覽會內婦人部の實況

（下）　日英博覽會事務官　秋元春朝

　更らに博覽會全體の上から申すと、今度の博覽會に於て殊に英國人の注意を惹いたことが二三ありますが、其の內の主なる點は、博覽會開場間際に當つて、不幸にも英國皇帝陛下崩御のことがあつた爲めに、職員一同大に失望し、會の前途に就て憂慮したのですが、幸にも開會の第一日に、日本の部丈は一品の不整頓なく、立派に陳列濟となりました、之れに依つて、日本人の忍耐力も強く、自信力もあり、一度ヤルと覺悟した仕事は是非やり通さずには置かぬと云ふ強い精神が認められました。之が日本部の好評を博した第一の動機となつたのでありませう。

　又陳列品中には、ありとあらゆる物があつて、今日まで英國人が他國では製作されぬ品だと信じて居た品物までも、麗麗と日本製の銘を打つて、英國製に劣らぬ品が出陳されて居たので、之亦英國人を驚かしたる一動機となりました。

　之れと同時に婦人に就ては、前述の如く過去及現在の日本婦人の決して侮るべからざるものであることを了解せしめ、且つ又一歩を進めては、內部に於ける日本婦人の強い勢力が英國人に十分認識された道理であります。

　特に絹織物や衣服類に就ては、非常の好結果を與へて出品物は勿論非常に宜く賣れ行きましたが、英國內の商店でも、今までになく日本品が澤山に賣れ、中でも婦人向の絹物、衣服等が餘程よく賣れたと云ふことでありました。從來英國內に在る日本品は、多く家具等の雜貨類に過ぎず、たま〳〵絹物があつてもその大多數は下等のマガイ物であると云ふ有樣でありましたが、此度は家具類にしても大變上等の物を出陳し、絹物類の如きマガイの無い、極上等の品を出しましたので、日本品の眞の聲價が始めて英國人に認められた理でありますが、吾々は相互に注意して、此の聲價を將來何時までも持續して失はぬやう致したいではありませんか。

　終に臨んで、私が日本の婦人方に對して希望致したいのは、前述の如く日英博覽會の婦人部が、其の面積こそ狹小なれ、兎も角も英國人に對して非常の感與を與へ、日本婦人の爲めに氣を吐いたので、後日彼國人が續々渡來して、今度は統計或は製作品等によらず、實物に就て觀たいと云つて來るかも知れませぬ。若し此の如き場合があつたらば、日英博覽會に於て、前述の如く、殆んど日本婦人の實價以上に紹介されて居ると云ふ事を頭腦に置いて、私等が苦心して紹介し來つた聲價を打ち碎さないやう、尚又十分に事實を了解せしむるやう努められん事を希望するのです。又一歩を進めては、現狀以上に發展し、活躍して日本婦人に對するこの好評を尚一層發揚せられん事を重ね〳〵も希望致します。（終）

東京に於ける史蹟と老樹

（二）　女子大學教授　戸川殘花述

▲大石良雄切腹の場所　高輪御用邸の御庭に、長さ九尺幅三尺もあらうと云ふ大きな花崗石が横はつて居る。此の石のある所が、名君銀臺公時代の御書院前の內園であつたと思はれる。又老木としては、切り株だけではあるが、周圍四十五尺と云ふ美事なのが殘つて居る。恐らく千年以上の星霜を經た老樹であらう尚此の杉から少しく離れて、周圍十尺高さ二十間、南より北へ其の枝の蜿々として延びる事が十二間二尺と云ふ、非常に立派な松の古木がある。この木は此邸內中の樹木の白眉であつて、實際世にも稀なる名木であるが、此の松の木の下、池に臨んだ小高い丘の上が、良雄以下切腹の座であつて、所謂大星由良之助の血が、今の安場男爵の祖先の手によつて此處に流された記念の丘である。但し此の丘を離れて約一坪の地で、竹矢來を廻らし周圍に熊笹の繁つたところがあつて、此處が義士切腹の場所であるとも言ひ傳へられて居るか、恐らく之れは、當時の不淨物を埋めた場所であつて、此の傳說は誤られたるものであらう。大石主稅の切腹した松平隱岐守の屋敷、當時芝區南佐久間町に在る松方侯爵の邸內にも竹矢來と云ひ熊笹と云ひ、同一形狀の場所があるが、之れも主稅以下の不淨物を埋めた土地であらう。熊笹は或は不淨を淸めると云ふ意味に用ゐられ居たのかとも想像される。

かくて

▲良雄以下の死骸を運び出した不淨門は、今日尚維然として舊態を改めず、高輪御用邸內に存して居る。序に云つて置くが、演劇で所謂

▲高師直　則ち吉良上野の介の屋敷は本所松坂町に在つたので、現在の國技館の裏、小さな稻荷の祭られてあるところがそれであるが、此稻荷によつて、頃は元祿十五年十二月十四日の曉方に挑源眠穩かな江戸士民の夢を驚かした三段流れの太鼓の音、雪を蹴て打ち入つた赤穗四十七士の勇姿が、轉た偲るゝではないか。

　義士は三度凱歌を奏し、威風凜々兩國橋を打ち渡り、曉方を濱町河岸から、今の月島海岸築地鐵砲洲町に出てたのであるが、玆に藩主淺野家の屋敷があつたので義士は思ひ出多き舊邸前に一禮して、道を泉岳寺にとり、此

▲今の新橋停車場に出た處は當時會津藩主の屋敷であつたので、今尚小さく停車場構內に流れて居る會仙川を境として、西仙臺公の屋敷と隣つて居たのである。義士は、此の仙臺屋敷で少憩し、粥の馳走を受けたと云はれて居るが、眞僞の問題は別として、兎も角も四十七士は此處に暫時休憩し、夫れから泉岳寺に繰り込むだのである、と斯う考へると、今日冷かな鐵のレールを敷き詰め、油に汚れし車や煤煙にまみれし建物の列んで居る新橋驛の構內も、亦歷史上兒童敎育の立派な一資料となるのである。（つゞく）

㊞愛國婦人愛讀者諸君へ謹告

▲新聞代集金　は本年度より當發行所より直接發送の分は便宜上三月、七月、十一月の三回に集金致します、其都度請求書を差出しますから豫て御注意を願ひます、尤も御差支なき限り前金にて御仕拂被下候へば尙更ら双方の便宜と存じます。

▲新聞の代金　をお送りになる時は、振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく、其の上郵便賃もいりませんから、御便利でございます。

但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金　の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ます。

▲郵便切手　で御註文又は御送金の節は必らず一割增にして願上ます。

▲愛國婦人發行所　の振替口座番號　は每號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番でございます。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謠曲評釋

粉の下風

(二十)

◉浮舟　京都大學講師　池邊義象

(一)思ふこといはではつひにやましろの宇治のわたりのうきせにも沈みははてぬゆくへこそ、なか〳〵なりし恨なれ。

これは源氏の浮舟の巻によれり。浮舟の君は、源氏の君の弟、宇治の宮の御女なるが、繼父常陸守に養はる。然るに常陸守には本腹の子あまたあるか故に、浮舟をよそもの〻やうにせり。依て母君と共に歎きて宇治の宮の女中宮のかたへあつけおきたりける中、匂宮、又薫中將なとかよひそめて、引手あまたとなられしかは、遂に思ひ煩らひ宇治川に身を投けむとせられたりしを横川の僧都に助けられ、後遂に小野のさとにかくれて、尼となられたり。この事の次第によりたるが故に、思ふこと言はてや遂にやましろといひかけ、宇治の憂き世といひ、ゆくへなかなか恨なりなと〻いへるなり。宇治十帖にくはしく見えたり。

(二)うき世をわたる柴舟の、みなれ〳〵てさす棹の、しづくを見れはいつとなく、ものおもふ袖もかくばかり。

宇治の關係より、その川にくたす柴舟をとり出てたり。みなれは水馴れなり棹の雫を見れは、わが物おもふ袖もぬるゝとなり。こゝも宇治の宮(即ち八の宮)の世を捨ておはす處に、薫中將の間ひ來て、世のはかなき事ともを語り合せられしことを本とせり。橋姫の巻のこゝろなるべし。

(三)身をわくることはかたしや玉くしげ、ふたみちかくるわりなさに、思ひみだれて打かへす、心ひとつのくるしさよ。

浮舟の君の心の中をいふ。匂宮薫中將の共にふかき心をもて戀せらるゝに、浮舟の君はいつかたによらんやうもなしとなり。身を分ることは難し、されはとて二道かくるはわりなき事故に、一すぢに思ひ亂るゝことの苦しきとなり。玉くしげは蓋の枕詞、それより二にかよはせたり。身をわくるといふ身も、櫛匣の縁語なり。詞花集に、思ふ人二人あるを同じほとに戀たる心を、左大臣『いつかたも夜かれんことのわりなきにふたつにわくるわが身ともかな』と、うた參考すべし。

(四)小野の住居のおのつからきこえやありとつゝましく峰のあらしやさをしかの聲にもたてすなりにけり。

浮舟の小野に住みて尼となられたる後に、薫中將より文なとつかはされたれとも、世のきゝもいかゝとて、何のかへりもせられさりしこと、夢浮橋の巻に見えたり。峰の嵐、さを鹿のおとにも、聲にもたてす引こもりおはしたりとなり。

(五)いにしへのふた歌ならで、何となきこころゆかしの手習ひは、つれ〳〵なる日くらし、しのひ〳〵の涙なり。

浮舟の君か小野にこもられて後、手習せられしこと、手習の巻にあり。こは古の二歌、即ち難波津淺香山の二歌を再ひ習ひかへさんとせらるゝにもあらず。たゝ何となく昔のことゆかしくて、徒然のあまりに、昔習ひしことゝも書きて、古きをしのはるゝことよとなり。忍ひ〳〵のなみたといへるに、懷舊のかなしさ一しほおしはからる。

(六)田のことの秋になりぬとや、稲葉にまじるをとめ子が、聲はをかしう打そへてかたへはそらにかりそなく。

田面の秋とは、田事のいそかしくなれる秋をいふ。稲かるとてをとめ子か降立ちて、田うたなとうたふさまなり。その聲に合せて、空高く雁もなくかあはれとをかしとなり。こゝも浮舟の巻の詞によりたり。

この一組は、浮舟の君のこゝろゆきを述べたり。おもひあまりて遂に小野に引こもり、さまをかへて世をはかなみしことをいひ、さてながむれば、秋の田のけしきのたゝならずして、田少女の唄ふ聲に空のかりの鳴き合はするなど、おのづからなるさまのあはれふかくおもしろきをいひて、何事も打すてたるけしきを樂まんとの心をのべたるなるべし。

●宮城・茨城兩縣下の讀者諸姉へ

從來宮城茨城兩縣下の讀者諸姉へは支部より本紙を御送り致して居りましたが便宜上宮城縣下は去る一月十五日號より茨城縣下には二月一日號より當發行所から直接御送附致すことに變更致しましたから左樣御承知を願ひます。

愛國婦人發行所

婦人の鏡

千葉　大岡美雪子

松竹立てゝ千代をことほぐ今年睦月の初めつ方いとめでたき善行者こそ見はれけれ。そは千葉縣匝瑳郡東陽村の人にして名を藤代ひで子と呼び資性温厚にして且操行端正なりき。刀自は弘化二年十月を以て同村に生れ大木甚兵衛氏の二女にして文久二年同村藤代直吉氏に嫁し爾來柔順を以て舅夫に事へ一男一女を擧ぐ。同家は元門閥家にして神官を勤め相當の資産を有せしか屢々不幸に遭遇し家計漸く衰頽し剰へ夫直吉氏は去る明治十三年十月暴風雨の際家屋の破損を修理せんとし過つて屋上より墜落し身卒に起つ可からざるを知り長男勇をは小學教員たらしむべしとの一言を此の世のなごりとなし死去せし後は徐々貧窶に迫まりしが刀自は之れと奮闘し克く舅に孝養を盡し且つ亡き夫の遺言を守り子女の教育に意を用ゐ或時は人に雇はれ或時は山に入りて薪を樵り市に鬻ぎ粒々辛苦を嘗むる中去る二十五年舅は天年を以て逝にたりしかば家計一層困難となりしも刀自は益益粉骨粋身の勞をとり遂に長男勇をして小學校員たらしめ現今東陽小學校に教鞭を採らしめつゝあるに依り今や家計漸く舊に復し茲に始めて亡夫の遺志を全ふするを得たり。嗚呼刀自が一家の爲めに盡瘁せること實に三十有一年一日の如し。

嗚呼、世には良家の妻女にして貞操を破り竟に忌まはしき憂き世の淵に墮落し爲めに家聲を落す者さへ往まある中に此藤代ひで子刀自の如く堅忍不拔の志操をもて克く孝に克く滋に努め一家の將さに滅びんとするの秋に當たり身を挺いて之を挽回し更に家聲を揚げしは實に他の模範と爲すに足れり。宜べ其奇特を嘉みし此回千葉縣知事より金若干を賜ひ厚く其善行を表彰せられたるは洵に新年の初めに當たりいとめでたきことにこそありけれ

素人料理

▲薄葛椀　海老を鹽湯にて茹で、頭脊腸を除き皮を剝ぎて好きほどに切り、燒豆腐を水で洗ひ、好きほどに切り、醤油煮出汁砂糖にて薄味に煮海老と共に深皿に盛り、薄葛餡をかけ、おろして蜜を添へて出す、薄葛は醤油五勺位に砂糖匙に五分を加へて弱火にて煮詰め、煮出汁を二合ばかり入れて沸騰させ、葛を水で溶いて、徐かに流しこみ、とろ〳〵の加減にする。

▲蕪の薄葛　蕪の皮を剝ぎ、卸金にて卸し、輕く搾つて茶碗に入れ、玉子を割つて好く掻き廻はし、玉子一、煮出汁二半の割合にて好くかきまはし、醤油味淋にて味の加減をなし、蒸籠に入れて蒸して薄葛餡を掛けて出す(餡は醤油に砂糖を加へて好く煮沸し煮出汁を入れて鹹加減をなし、葛を水に溶いて流し入どろ〳〵に煉り上げたもの。)

▲芝海老付燒　海老を好く洗ひ首の下の方の殼と殼との間に細い金串を刺し、脊腸を拔きて好く洗ひ、二本の金串へ四五尾づゝ刺し、醤油を注け烈火にて兩面を燒き、醤油をかけて再び火に乾かし、串を拔いて皿に盛る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

風馬牛（六）

園蜩

和國屋では、朽木彫太郎の方から華子との結婚を屢々催促して來るので、早く道子を片付けねば父親の仁兵衛が承諾せぬ故、母親は實家の弟山吹市三にも相談して、二三年前から申込まれた時、不足に思つて彼れ是れ難癖を付けて應じなかつた中から、今更二三口選り出して見たり、又は近頃新に申込んで來た中には、前々の口よりも劣つたのが多いけれども、然りとて缺點の無い十分の口は目の前に在るとも限らず、之を待つて居ては華子の良縁を失ふ事になるから、最早少少の不足は忍んでも決定やうと思つて居る所へ、貞代が光本の事を相談に來たのであつた。併しながら、母親はまだくズツト高く考へて居るから、縦ひ道子が不幸で再縁三醮の境遇になつたり、三十も過ぎて娶ひ人の無い爲めに中婆になつて了つたりした時でも、光本のやうな分際の家に嫁るものかと思つて、何れ兩三日中に…と言つて、可い加減に斷る積りで、頻りに山吹屋の夫婦と相談して居つた。

之に反して、父親の方は何か見る所があつたと見えて、翌日の夕食後に居間へ女房を呼んで

「一件は如何挨拶をするのかい」

と質ねると、女房は一も二もなく、

「彼様な貧乏人…小學校の教師なんか人間ぢやあ有りませんよ、若しも何かの因縁で彼の如な家へ嫁つたにして御覧なさい、先方には未だ五十餘りの母親が在ると云ふぢやありませんか、其所へ子供の二人も三人も生きたら何するでせう、却々五十や七十の端月給では迚も操り切れませんから、毎月五十や八十の手傳をせねばならず、其れに、ヤレ目出たい、ヤレ悲しい、ソラ病氣だ、ソラ何だ、と百や二百の金は何時も出さねばならんでせう、然うなると和國屋の藏は穴だらけです。今其様な所へ嫁らなくても、此方からサア遣ると云へば、少くても十萬や十五萬の財産のある家から、手を摺つて娶ひに來ますよ。ですから、今山吹の弟等とも相談中です」

といふ。主人仁兵衛は、大に女房の虚榮心を戒めるやうに、

「其れあお前氣色からん心得だ、俺は全體財産などは目に入れて居ない、先方の本人一つで決定る積りぢや、中城先生のお話に據ると却々樂もしい人物だよ、今縦しんば百萬千萬の財産が在つたつて、本人の心が貧乏なら翌の日にも一文なしになる。加之に、道子も先生からお咄になつたら承諾したと云ふぢや無いか

「其れあ中城さんは珍らしい人格な方ですから、何かお見込も有るのでせうが、高が知れて居まさあ、…彼の人達は學校より外の世界を知らない方ですから、月給の百圓も取れるやうになつたら、神様のやうに思ふでせう。百圓位の金で、五人七人の家族は却々養へませんよ。加之に老朽て罷められたら何しますか、尚且當家の厄介です。又道子は、先生に對して否とも云はれないから、「兩親さへ嫁けと申せば私は參ります」と云つて逃げたのでせう。ですから、彼の娘の心も察して遣つて、親が拒絶つたにして置けば彼れも迷惑をしませんよ」

（七）

成程、それも然うか、と仁兵衛も思つたが、猶ほ念の爲に道子を呼んで聞いて見ると、是れは又意外

「私も其れは心配致しました、人間には非常の事もムいますが、萬一の時に人の厄介になる様では、一家の恥でムいますからと申しましたら、中城先生も御同様で、其れは十分確めて置いたが、決して其の心配には及ばぬと仰しやいました。其れに、私も少々覺悟もムいますから、身體さへ壯健で居れば、三人や五人の家族を養ふ途は幾干もムいます。今若し百萬二百萬の富豪に嫁きましても、配偶が木偶ならば無財産と同じで、私が何様なに活動いても何の功もムいません。又私は先方の方を未だ見た事も無いのでムいますが、中城先生の御保證ですから、神様の御告宣よりも確かに思ひます。併し萬一齟齬ひましたら、娘一人棄てたとか、又は急病で死んだとか覺し召して諦めて下さい。何様なに不幸に會うて落魄れましても御厄介は掛けません」といふから、父親も之に賛成したが、母親は未だ何とも云はなかつた。

併し華子を早く嫁る途開きとしては、此の縁談こそ何よりの幸であると思ひ、又朽木合名會社といふ目前の榮華の匂ひに憬がれて居る心からは、道子を早く始末したいとも思ひ、又縦ひ時節を待つにしても、朽木ほどの口は在るまい、其れを今道子の爲めに曠日彌久ては、華子の幸福も、和國やの名譽も得られぬ樣にならう、何せ朽木以下の所へ道子を嫁るなら、貧乏でも教師の方が日傭稼ぎよりは優しであると考へたから、其の晩直ぐに山吹屋へ出掛けて、弟夫婦に咄した。山吹市三夫妻は、和國屋も道子も何も顧慮へるのでは無い、只自己の或る因縁を拵へる爲めに、朽木へ恩を賣るのが無二の希望であるから、委細御尤で賛成をした。

（つゞく）

雜錄

●耆老聖恩に泣く

▲京城の賞狀授與式

京城の各警務署にては去る二十三日より耆老兩班儒生に賞狀を授與したるが耆老は小數の病者を外く外は悉く出席し何れも此の恩典に感泣せざるは無く別けて南大門分署の授與式には總員七十一名の內六十九名は午後一時式場に充てたる同署內の事務所に整列し安藤署長より韓國に於ける兩班儒生は耆老に達するも朝野に在りて國家に貢献する所甚だ尠からず今日韓國は日本に併合せられ共に德政に浴するの幸運に際し總督は　聖旨を奉じて諸士に恩賜金を賜はりし旨を申渡し夫夫賞狀を交附したるに兩班洪旨燮は受賞者を代表し答禮を述べ水門洞分署管內の兩班權泰臣（六十二）は天皇陛下萬々壽と白紙に書し文字ある者は何れも署長に乞うて筆紙を借受け祝詞を認めて喜びたりと

●兒童讀物の注意

兒童の讀物として出版せらるゝ圖書は其數日に月に益々增加するに係はらず何れも甚だ杜撰孟浪の編著に屬し教育上より見て適良と認むべきは實に百中の二三に過ぎず然るに家庭に在りては其良否を判別することを爲さず妄りに之を兒童に與へて其弊害を顧ざるものあり又通俗圖書館簡易圖書館等に於ても往々其弊に陷ることなしとせず是を以て市立圖書館主幹諸氏は兒童讀物調查會なるものを設け別記標準に據りて着々調查を進めつゝありと云ふ

▲兒童讀物調查に關する標準

左記諸項の一を含む讀物は不適當なるものと認む

一、書名　兒童に惡影響を與ふるもの（例へばホラ先生の如し）
二、印刷　文字の不鮮明なるもの（活字の大小）兒童の視力に惡影響を及ぼすもの（彩色の注意に缺點あるもの）
三、繪畫　野鄙なるもの、殘忍酷薄なるもの、不明瞭なるもの
四、語句、文章の野鄙、粗暴、不敬
五、事實　俳優の成功、極端なる好奇心の喚起、殘忍酷薄、國家的道念の殺滅、事物の道に反するもの、利己心の挑發

今流行の御婦人指環

ダイヤモンド眞珠入金白金製

地方より御注文は振替口座へ御拂込被下度願上候

美術貴金屬商
東京日本橋人形町通り
澤田治助
長電話浪花二五六九番
振替口座一一二七二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

佐々木信綱先生選評

―鶯、告、春―

天　岩代柳津村　長谷川吉野子

春姫の御遊傳ふと鶯は
雪の山里なき巡るらし

(評)着想清新なるをもて天位とす

地　芝區城山町　藤の花

雪はれて初日さしくる竹むらに
はる告ぐらしも鶯のこゑ

(評)うつくしき歌

人　山城相樂郡棚倉村　古川よね子

春きぬとなく鶯に告げられて
梅咲くまとに春の歌おもふ

(評)三句のいひさまいまだしくはあれど

秀逸

豊橋　平松いと子
くれ竹のたゝしきふしに鶯の
はるや告ぐらむけさのはつこゑ

○　京都　難波良久子
春きぬとなくうくひすのこゑきけは
まつこゝろこそのとけかりけれ

○　兵庫　三畑たい子
春ゝぬとかすみの中に鶯の
初音匂へり山のあけほの

○　岩代　西山佐保子
鶯の初音きゝつと老人の
おもわに春の色そ見えける

○　同　小川しん子
遠山に雪は殘れと鶯の
初音と共に春は來にけり

○　備後　荒木科子
窓ちかき竹のさ枝に鶯の
ふしうらわかく春をつけける

○　同　世應龜子
奥山は眠るなかばに春來ぬと
いはぬはかりに鶯の鳴く

佳作

○　横濱　鈴木まつ子
草はいまみとりにならぬわかいほも
春來にけりと鶯のなく

○　埼玉　佐竹及子
池の邊をとさしゝ氷うすらきて
はつねをもらす谷のうくひす

○　遠江　山下瀰生子
南國の野邊を夢見る若人に
先づ春告くる鶯の聲

○　同　同人
薄ら氷まだとけやらぬせゝらぎも
鶯なけば春かすみたつ

佳作

○　山口　末田貞節子
雪はいまだ消えあへなくに鶯は
春とゝもにそたちいてゝなく

○　同　末田竹子
ふりかゝる雪の花かさすがにも
春としりてやうくひすのなく

(苑)(友)(小)(影)
芝區葺手町二三
土師利根子

○　麻布　浜子
花嫁が衣洗ひしてもどりくる
軒端に春をつぐるうぐひす

○　岩手　渡邊豊惠子
山里の匂またしき梅か枝に
はるつけかほに鶯のなく

○　尾張　吉田つう子
梅もまださかぬ山路の雪のうちに
春は立ぬと鶯のなく

○　静岡　齊田とめ子
二つ三つほころび初めし梅か枝に
春來にけりとつぐるうぐひす

○　石川　藤野忍子
暦なき里にも春のめぐりきて
初音ゆかしき鶯の聲

○　三重　莊司種子
かひなれしかごの鶯けさはゝや
春をつげぬる聲の長閑さ

○　大阪　木村静子
白雪の名殘りつきせぬ曉に
去年の鶯初音もらしぬ

○　同　同人
鶯や谷の戸出でゝ今日はまた
都の花にあこるゝかな

○　岡山　妹尾丁子
梅はまだつぼみのまゝの山里を
はや春つくる鶯の聲

○　近江　石井田すゑ子
嬉しなの身にあまりてや鶯の
はる來春くとつけわたるらむ

○　岡山　西村清子
母うせてなけきなかはにふときけは
春よとなけろ鶯の聲

○　千葉　東菊子
梅咲きて鶯歌へば春と知れ
病む母さへも眉を開けり

○　大阪　北林琴枝子
山ふかき己が庵のかひなれや
里より早き鶯の聲

○　芝　土師利根子
山里の古巣を出てうぐひすは
あさな〳〵に梅が枝になく

○　岡山　西村長子
白雪のつもりてとけぬ山里に
春をつくるか鶯の聲

○　麻布　鳳谷よし江子
珍らしなしばしとだえし梅が枝に
先づ春つげてきなく鶯

●苑友に申す

苑友諸姉が相互間に紹介致し間接に御親睦を企てん爲め諸姉の御肖像を本紙上に掲載致し度候に就ては御寫眞一葉當發行所宛御郵送の程願上候

愛國婦人發行所

○　神田　本田北濱子
山里は都の春にさきたちて
谷間に渡る鶯の聲

○　函館　五十嵐やす子
鶯の野上の方にきこゆなり
耶須の廣野の春あさき朝

俳句

鳴雪先生選

天　三河國碧海郡旭村字神有　岡部廣子

聖賢は交り深き榾火哉

地　三重縣鳥羽町　前田とし子

蓑蟲の落葉に疎し水の上

人　豊橋市　市川みとり子

寒行や女法師の尊くて

佳作

○寒月に夜汐の岩の光りけり　三河　市川はな子
鵆の群れて遊べる冬田かな
灰俵投げこんである冬田かな

○追ひ見れば生きて居るなり冬の蝿　同　間瀬昇子

○古里は雪にうもれて冬籠り　豊橋　市川みどり子

○傾城の初夢語る舌三寸　岡山　森島古野子

○川舟に鴨の眠りや冬の月　兵庫　三畑たか子

○初雪や小松か下の紅うばら　芝　中隈富士子
雪の夜や榾火にあかき山の庵

○小社のあらはに見えて冬木立　備後　妹尾常子
炭の香や一間を隔つ金屏風

○石地藏並居て更に枯野哉　日本橋　大橋まさ子
眞月の本意なくてらすゆき野原

○行年や又新しき鬢の霜　備後　荒木科子

○追羽子の人やあまりに袖長き　岡山　妹尾丁子
雪になくからすのこゑや一つ松

○鐘鳴るやつくれんとして寒鶏　備前　世應龜子
柊に雀のすくむ寒さ哉
一つ〳〵神代となりぬ除夜の鐘

○山國の榾積む軒に旭さす　岡山　守時千代子
門川に米磨く人の冴ゑ返る

○雪ふるや軒にうろつく三十三歳　同　宗本吉子

▲愛國文苑▼

⊙和歌　坂正臣先生選
野若草(二月十日締切)　春雨夜靜(二月廿五日締切)

⊙和歌　佐佐木信綱先生選
鶯　鶯(三月十日締切)　桃(三月廿五日締切)

⊙俳句　内藤鳴雪先生選
春期雜詠(五日、廿日の兩度締切)

▲愛國文苑▼

●日本橋箔屋町振替東京參貳九九八番

正式通信教授　速成作歌學會　歌學部　語學部　出版部

●明治和歌一萬集(半紙刷)一冊七十錢

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店　麴町區永田町二丁目
乳牛場　豊多摩郡千駄ケ谷町

鈴木牛乳店

電話新橋　一九九五
振替口座　二四二四

一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

レーラーロラ

Lait-Larola

を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は冱寒、寒風、硬水に堪ゆる樣皮膚を保ち凍症、ヒビ、アレ、アカラ顔等を防ぐに尤も妙にして且つ皮膚を柔く滑に色白く若やかにす四季を通じて皮膚を細かに完美にす

製造所　セルテンハム、エム、ビーサムエンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

M. BEETHAM AND SON,
CHELTENHAM, ENGLAND.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

宇都宮孝子傳（三）

大島光利口演

我が家へ立歸りし市兵衛は母の寢所を打覗き快く睡眠せる寢姿を兩手を突へて打眺め一時に出る身體の勞れ、胸のもや〳〵や一吹の煙草の煙の散じ臥床に入りしは二更の頃鐘凹々と告げ渡る、沖には荒る浪の音軒端を傳ふ秋風にうつら〳〵となす折しも表の方かしましき人の聲・何事なるかと耳聳てれば、折から枕邊の襖を排きて亦出たるは母の寢衣姿、市兵衛驚きてガバト刎起れば 母「是倅帶を締よ申し聞かせる事ありと云はれてハット打驚き、其儘兩手を突へ 市「深夜に至つて何に用に御座いまするか 母「何用とは情ない表に騷ぐ人聲は其方の耳には入かざるか、關根山田の御子息を始め、其方が日頃敎授なす馬術の御弟子が七八人門の表へ打群、口を極めて惡口雜言、合點ゆかずと母親は玄關へツット立出て、容子を篤と聞ますれば、大祿は領つて居るが我々の師匠には足らぬ腰拔薩摩の藩士が酒興の上主家を罵り惡口雜言、されど臆病の悲さには武威に恐れて手出しもならず其儘すご〳〵歸られた今宵の狀は何事ぞ、實に侍の風上へも置られぬ始末、昔から云ふ弟子は師の半減に至らずとか我々が筑柴氏の半減に至らねば何を以て上の御祿を食べき、祿盜人の誹は所詮免かれず今宵限り破門を賴む、師弟の緣を切ると皆口々に罵りて今しがた歸られてぞ、仔細は知らねど城内にて何事か起りしか、常々母が敎へしは忠孝兩道全からず親一人子一人なればとて、時に依ては二の事が一時に起りし節には、親に孝を缺とても忠義を缺なと座談の折々云ひ聞せたる甲斐もなく、君羞めを受けては臣死する、大恩受た殿樣を惡口されても手出しも叶はず、我が身の無事を圖らはんとする、見下げ果たる腰拔武士・然りとは知らず、此母は朝夕佛間に手を合せて我が兒を譽め、人並々の武士になりました故冥途にをわする我が夫にも御安堵なされて下さるやうと回向に代て申し上るを、此上なき樂みとなしたるを今將思へば面目ない、長命すれば恥多し、一人の我兒は大切なれど上を汚せば詮方なし、其方は今日より大小を捨、哀れ町家に身を落して何家なりとも生涯を送れ、親類緣者もあらねども誰か賴んで養子を入れ、筑柴の家を相續させん、夫とも其方に申開きの道あらば、あらはに述て此母の心を沈着給はれヨ、返答如何にと詰よる氣色は男も及ばぬ女丈夫なり、市兵衛徐々に頭を低 市「ハイ一時の御腹立、六ツや七ツの幼き頃より小耳にはさみし武士道、何とて忘れ申すべき 母「夫なら今宵の出來事は何といたす 市「去ればなり、薩摩の御藩宍戸氏、酒の云はせる惡口雜言、一盃人酒を飲み、二盃酒酒を飲み、三盃酒人を飲むの假令にて、心亂れて口ばしる惡口、醉が覺たる其後に詮術ありと、只何事も明朝を期す、醉が覺たる曉には纜解て海路はるかに故鄕鹿兒島に御出立と聞、若し我々の知らぬ内に出航いたす容子あらば忽ち歸つて知らせよと下郞喜助に申し付太儀ながらも終宵大手の邊に張番させ、拙者一人立歸りました、夫に血氣に猛る若侍、一圖に拙者を臆病未練とあざけり罵り門前にて惡口いたすとは何事なるぞ、後刻下郞の歸りなば拙者の心に卑怯なき身の潔白も相判らん、然恁ふする内夜明けも近し、はや秋風も肌へ浸寒さ一しほ彌まされば御風邪冒ては叶ひません先々御寢所へ御引取り下されたく 母「イヤ〳〵女ながらも市左衛門貞包の妻の果、武士道に負た我兒の行を聞ては身も世もあらぬ話し、是儘病に冒されて死すとも決して悔みはない其方の言葉が噓か實か、之を確と聞てむまでは決して寢所へは引取るまじ、下郞の歸りを待受申さんと、有明の燈火の邊に坐を構へ、涙ながらに我兒の容子をキット白眼まい打まもる、はやほの〲とあさぼらけ鷄の聲は四方に聞え陽氣の音色曉六つの鐘、曉天の明星光りするどく放つ頃ほひ、表の門を打叩き 喜「旦那樣喜助で御坐ひます御開門を願ひます、此聲聞て市兵衛はカバト刎起て門の閂押やりて央を開て打覗けば玉なす汗を拭ながら下郞喜助は息せきと 喜「オー旦那樣お賴みの薩摩樣の御家來宍戸宇源太樣と云ふ方を始めとして十一人が海岸から船で御歸りになるとの事、最早大手を出ました故直に御知らせ申上げます、徒歩では迚も間に合ず、下郞が氣轉で御馬を玆に曳て參りましたから少しも早く跡を追掛恥を雪ひで下さりませと一季半季の雇人も主人思ひ忠義の眞心玆に現はれて物語れば、市兵衛片頰に笑を含み 市「ウン喜助でかした、馬があらば最早十分、暫く夫に控へて居れ、云ひつゝ門を八文字に排き手招きなせば下郞喜助轡押取つて玄關の前へ曳入る、手早く身支度腰に帶む大小は、家に傳はる信國の短刀に刀は江州甘露の住天九郎

（つゞく）

▲吹留眞綿の名聲 麻布新堀町吹留眞綿製作所の吹留眞綿は我國產たる眞綿の眞價を發揮せんため十數年前より專心研究を重ね日清日露の役に防寒用として非常の名聲を博したるものなるが其後更らに改良に改良を加へ今日に於ては輸入の諸防寒品以上の特色を有し海外よりも續々注文ありと

▲岩佐壯婦丸 は今回又更らに伏見宮貞愛親王殿下に献上して御嘉納の榮を得たるが益々此の藥の効顯を了知する人多く現に東京に於ける某々華族の御宅にては家庭の常備藥として備へらるゝ事となれりと云ふ

ちゞれもくせも　二大奇方劑　もはへうけあい

本法は 女髮結師安部歌子 女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七　小林濟世園

學窓餘談 譯 松島剛氏監修 特價壹圓廿錢 送料十二錢 東京市日本橋 春陽堂

奮●闘●美●談 ろびんそんくるそう

本書は從來の譯本一二あるも一部分の抄譯に過ぎず其精神に至りては殆と沒却せられたり 玆に新たに全部の懇切なる譯成り本書著作の大精神を躍如として橫溢す、世界の名著に玆に完璧を得たり

菊判 七百廿頁 價壹圓五十錢

御雛人形 御雛道具 例年之通り陳列仕候 日本橋室町 木屋漆器店 電話長本局七三〇番、九九七番

胃病良藥 太田胃散

▲諸飯調理法（牧野星池編） 諸飯に就ての有ゆる調理法、常飯より味噌に至る五十九種の炊方を述べたる家庭向きに調法な書物。（定價十錢、京橋區吉川弘文館發賣）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案内

産科 婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長 醫學士 天本治
(入院隨意) (電話下谷二六六九)

産科 婦人科 小兒科 野中醫院
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番

◉小兒科に殊に營養障害
淺草下平右衛門町十七
内山小兒科醫院 (電下二参六五)
院長ドクトルメヂチーネ 内山好十

...(診察時間)...
○産科、婦人科 入院應需
橋爪病院(浪花二六〇番) (日本橋區蠣殻町一の廿九)
月、水、金午前
毎日二時ヨリ五時迄 自宅(下谷二四八七)
本郷區眞砂町十五番地
醫學士 **橋爪哲造**

婦人科産科 榊病院
醫學博士 榊順次郎
醫學士 久保徳太郎
醫學士 田代謹二
毎日午前診察 日曜水曜午後婦人科的外科 火木土曜日午後泌尿器病及内科
●施療 火木土午後自一時至二時
●施療 姙婦産婦ヲ取扱フ
麹町區三番町三三(電話番町三九五)

◎産科。婦人科
◎内科。小兒科
森種太郎
小石川西江戸川二六
電話番町(一四二六)

◉産科 ◉婦人科 (午前宅診 午後往診 入院隨時)
野口醫院
芝白金志田町五七番 魚籃坂下(電芝五壹貳)

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
濱町病院 産科 婦人科
院長醫學士 小林八十七
醫學士 大瀬貴明
醫學得業士 杉原格藏

◉産室增築落成
日本橋區濱町貳丁目十一番地
産科婦人科稻生醫院
電話浪花三三四三番

岩佐病院 日本橋區蠣殻町二丁目廿三番地 (電話浪花六七九番)
診察時間 自午前九時 至正十二時
内科婦人科 院主 岩佐純
内科 院長 ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
産科婦人科 醫學士 佐久間兼信
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士 **榊田義衛**
電話本局三一九〇

内田病院
淺草區新福井町二(瓦町電車停留場際)
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門 院長醫學士 内田愼太郎
(午後診察) 副院長 醫學士 瀧原五郎
(電話下谷七一八)

◎産科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

内科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診 **板垣亨**
電話本局貳千九百七十番

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地(電話番町貳三八四)
醫學士 **中山敏樹**

◉院長ドクトル **木村順吉**
京橋卅間堀一丁目角(電話京橋一六七〇)
婦人科産科 木村病院

産科婦人科一般
神田區佐久間町二丁目十七番地
松岡醫院
電話下谷三七五六番

腦神經精神病
東京市外 青山病院
帝國腦病院
院長 ドクトル 醫學士 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
望月温象
電 特芝二七四五 芝二六六五

赤十字院長橋本子爵 宮内省侍醫岩佐男爵 **記念藥**

軍事參議官陸軍大將 帝國在郷軍人會總裁 **伏見宮親王殿下**
第一師團長 日本赤十字社總裁 **閑院宮親王殿下**
篤志看護婦會總裁 愛國婦人會總裁 **閑院宮妃殿下**

橋本子爵岩佐男爵の我が醫界に於ける功勞を深く被思召該記念藥御嘉納の上御沙汰書を賜はり候實に空前の光榮と吾吾一同感激罷在候茲に記念藥發行贊助員として奉表敬意候

記念藥贊助員(いろは順)第一回分

伊藤幹一　高橋捨六　淺野總一郎
井上敬次郎　高楠順次郎　淺倉菊衛
伊藤大八　谷新助　酒井泰
鳩山和夫　根津嘉一郎　笹川章門
八田一精　根本正　三岡丈夫
花井卓藏　中澤彦吉　箕浦勝人
林謙吉郎　中野武營　斯波貞吉
本多精一郎　中島行孝　男爵澁澤榮一
德富猪一郎　南部球吾　島郁太郎
利光鶴松　南條文雄　島田墨仙
大生定孝　男爵楠本正敏　島田藤吉
岡崎邦輔　馬屋原二郎　江間俊一
男爵小澤武雄　馬越恭平　日向輝武
尾崎行雄　前田慧雲　伯爵廣澤金次
改野耕三　松原暖三郎　森久保作藏
桂二郎　松田源治　男爵關義信
河野廣中　江原素六　關根親光
横田千之助　寺師宗德　男爵千家尊福
吉田幸作　淺羽靖　杉原榮三郎

○帝國在郷軍人會○日本赤十字社々員○篤志看護婦會員○愛國婦人會々員○官私諸學校學生に限り定價一割引 ○在郷軍人及び遺族諸君にして販賣取次を望まるゝに於ては三十七八年役に深き縁故ある救世丸(征露丸)又は壯婦丸を販賣せらるゝ事最も適當なりと信ず ○町村役場員又は有志家にして効能卓越せる救世丸及び壯婦丸販賣取次せらるゝに於ては其の町村の衞生狀態を良好ならしめ公私の健康を保持する一端なる事を信ず○取次販賣希望の有志者には特に割引す可し

帝國醫科大學名譽教授
ベルツ醫學博士曰く獨逸は醫學又は醫術に於て日本の先進國たりたれど橋本子爵の處方たる征露丸救世丸の調劑は我國より日本へ照會し來れり日本より獨逸に藥劑の教示を與へしは是のみなり云々

故陸軍々醫總監醫學博士橋本先生處方
胃腸肺病 原因療法 **救世丸**
強力なる消化、殺菌、防腐、滋養の作用を具備し、胃腸を健全ならしめ諸傳染病を豫防するに卓効あり

宮内省侍醫岩佐病院主岩佐先生處方
婦人諸病 原因療法 **壯婦丸**
ヒステリー、子宮病、産前、産後の血の道一切、又めまひ、頭痛不眠便秘、神經衰弱等には、男女共に偉功あり

海軍藥劑大監水野先生監製 (効能書贈呈)

販賣取次は本舖又は特約店へ申込るべし◎全國藥店にあり
藥價 小七拾錢 中壹圓參拾錢 大壹圓八拾錢 試用瓶參拾錢
郵便は爲替又は振替貯金にて御送金ありたし

東京深川公園 本舖 合資會社 **福井堂** 電話浪花五六九 振替東京二三六六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■■御注文の節は御申越次第迅速送呈可仕候■■

白木屋呉服店

雛人形

増築工事中にても平常の通營業仕候

二月十日より陳列販賣仕候

■■遠隔の御方は通信販賣課宛御用命被下度候■■

佛國ボルドウ府メルマン會社釀造

世界唯一

マルタン生葡萄酒

金星、銀星、赤星の三種あり

佛國大統領
西班牙皇室
和蘭皇室
御用品

健康と長壽は本酒の常用を怠たらざれは期せずして贏ち得られん「アルコール」分少なく品質の優秀にして價格の低廉なる本酒は能く貧血者虚弱者心身の疲勞者冷え症の者及び一般の飲料に適す

直輸入發賣元　横濱 東京　山田屋商店

一手賣捌所は全國到る處和洋酒店藥店にあり萬一品切の場合は發賣元又は代理店へ御用命を乞ふ

日本輸入品に限り包装紙に斜に「アイボリー」石鹸と記入し一見模造惡質石鹸と判別に容易ならしむ御購求の節『アイボリー石鹸』に御注意を乞ふ

最上醤油

於日英博覽會　賜名譽大賞牌

カギダイ

到る所の酒醤油店に販賣す

釀造元　下總銚子港　鶴屋吉兵衛

金婚正宗の名譽

●御進物用には至極好適

畏くも東宮殿下御買上の榮を荷へり

優等清酒金婚正宗の品質純良なるは既に定評あり而も價額尤も低廉也

●御常飲用には樽詰もあり

宴會用御用瓶詰あり
瓶詰箱入
各洋酒問屋にあり

發賣元
神田美土代町二丁目角
豊島屋本店
電話本局一七五四番
三八八一番

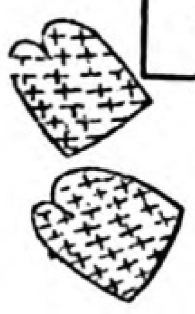
專賣特許

衣裳中入吹留眞綿

男女着物羽織用等種々あり
價格は輕目重目に依り六十八錢より
品質純良使用輕便且經濟なり

東京銀座四丁目
大和屋綿店

商標 登録
吹留眞綿



足袋中ばき

實用新案足袋中ばき此他細工品種々
シモヤケに特効あり又鼻緒づれの患なく
普通より足袋を二倍保たせ防寒と經濟とを兼備せり價拾七錢

麻布新堀町
吹留眞綿製作所
販賣部

東京市京橋區新富町七丁目六番地

石鹸製造業

相馬帝國社

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス本品ノ特色ハ使用ノ際ノ永ク湯水ノ中ニアルカ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は随分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に內服藥の必用なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舗津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將宮は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痳毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舗は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

有名なる

精撰廉價　堅美懇切

ハカマヤ

裁縫巧好　染色保證

東京神田小川町　影山專門店　電本局　三八二六番

一美一

クレームシモン

佛國レモン會社製

羽二重のやうに滑かに薔薇の如く美しく色を白く艶をよくする美顏用

三越呉服店を始め到る處の化粧品店及小間物店にあり

一美一　一美一

登錄商標

●東洋一製造大販賣 卸し小賣

◎夜具蒲團綿類ざぶとん

外濠線駿河臺下停留場前　神田表神保町二

諸官省御用　(や)

矢田本店　電話本局二〇一八番　市內無賃配達

●階上縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り

●綿質保險附●確實大勉強●正札引なし

頭髮の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ

●毛髮洗滌液 **ペトロール、ハーン**

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして、毛髮を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を増し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用後永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり(各地有名なる化粧品店にあり)

代價　小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓

横濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側　御影堂　持阿彌

チエリーブロスソム石鹼を使はざる貴婦人方あるならば直に需められよ!

チエリーブロスソム石鹼は純良なるを以て好評高し

ゴスチル會社　倫敦巴里

創立　明治九年

資本金　五百萬圓

積立金　三百廿五萬圓

電話浪花　四四二　四五一　三七七七　四五六〇

東京市日本橋區小舟町

株式會社 **第三銀行**

監督　安田善三郎

頭取　安田善四郎

營業部長　清水虎吉

全國送金無手數料

其他銀行一般の業務便宜に取扱可申候

資本金八千百萬圓

東京京橋區木挽町

株式會社 **十五銀行**

電話新橋 一三〇〇番　一五三〇番　一九一三番

同日本橋區新乘物町

同 **日本橋支店**

電話浪花 一九〇一番　三二七四番　三五〇五番

一定期預金　六ヶ月以上年四分　厘

一當座預金　日歩五　厘

一特別當座預金　同　八　厘

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 **森村銀行**

電話(特)本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月　年四分五厘

當座預金　百圓に付日歩　五　厘

特別當座預金　同日歩　九　厘

毎日午前八時ヶ午後九時迄院長診察

皮膚病　梅どく　りん病　わきが　生殖器諸病　ぢ

東京淺草橋通瓦町廿八瓦町停留場横　**中央醫院**

婦人病ヒステリー症たむしにきび等婦人諸病

皮膚諸病　梅どく　りん病　ぢ　消渇病

血道の子宮病　月やくとまりたる病　子なき婦人

生殖器病　神經衰弱　記憶力減衰　陰萎夢精遺精早漏陰莖發育不充分　わきが

▲病狀を記し郵券六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥説明書を送る

東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横　**中央藥院**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京勸業博覽會二等賞牌受領

都足袋粹乃友

○三重足袋君が益は甲三重底三重なるを以て優に群を抜くの耐久力を有す
○三重足袋君が益は甲三重底三重なるを以て冬季は寒さ防ぐ効力を有す
○三重足袋君が益は甲三重底三重なるを以て脂肪の滲出を遮ぎり清潔を保つの効力あり
○三重足袋君が益は製作最も精密なり故に縫目の破綻する虞なし

三重足袋君の益

白紐 羽二重足袋

○羽二重足袋は外觀内容共に美麗にして一般社交界の好評を蒙れり
○羽二重足袋は御婚禮其他御儀式履きに缺くべからざる必要品なり
○羽二重足袋は衣裳の裾を傷めざるは勿論裾捌き最もよろし

○都足袋は曩に農商務省に出願して登錄商標專用を得たる物なり
○都足袋は外觀優雅にして現に都人粹士の歡迎を受けつゝあり
○都足袋は踵に縫目なく衣服の裾を傷ふことなし
○都足袋は製作に至大の注意を拂へり故に履具合良好縫目破綻の憂なし
○都足袋の材料最も優逸にして經濟上尠なからざる効力を有せり

各種足袋調進所

龜屋

地方よりの御注文は代金引換小包拾足以上は送料自居持にて御届附申上候

東京日本橋區室町三丁目
龜屋 宮内清兵衛
電話本局一七一二番

此たびめりんす專賣店を向ふ前へ開店仕り一層新柄撰み大勉強致し升

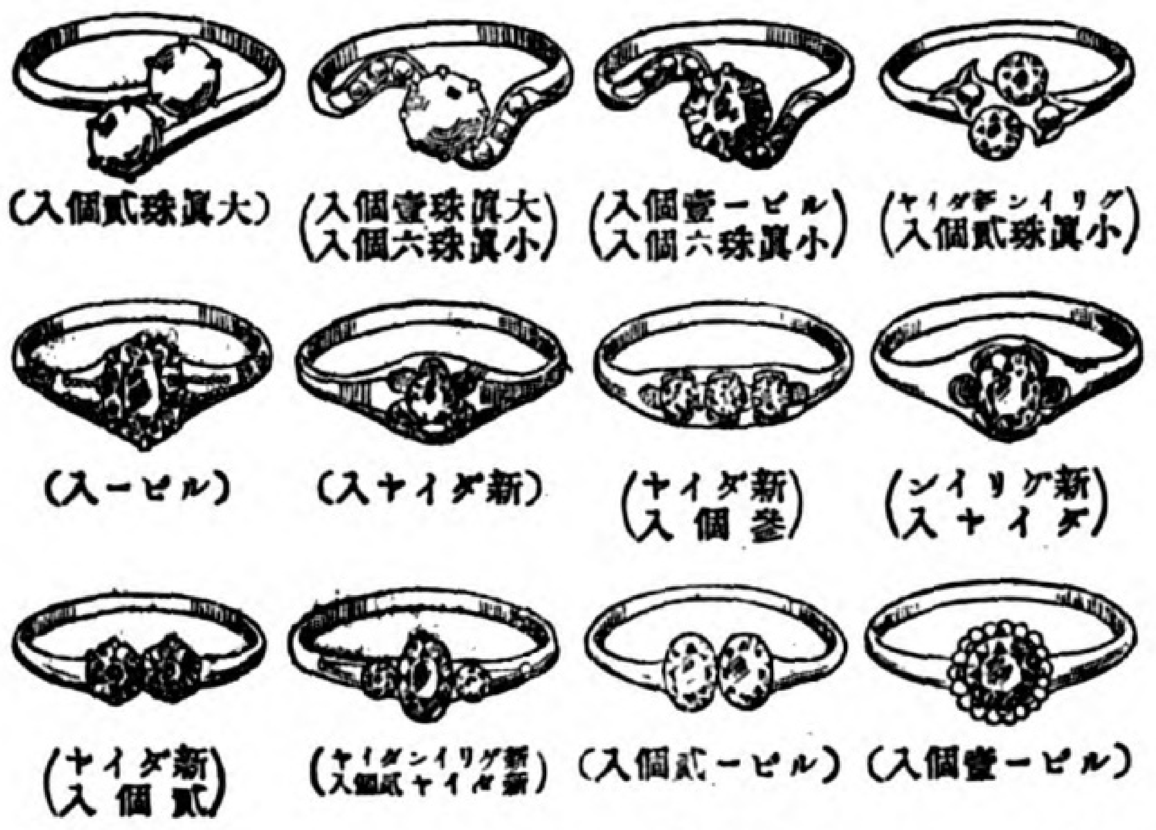
東京人形町通り
赤のれん本店
おばなや
電浪四三四五番
向ふ前
おばなや同店

水晶おしろい

すきとうりたる
水にて付ると白くなる流行の薄化粧料にして
目立ぬ故男子にも用ひられる

定價
五拾錢
貳拾五錢
拾五錢

本舗東京
大和屋



最新米國製婦人持
十八金着寶石入指輪
各號共 壹個 特價 金貳圓(各箱付)

此指環は最近米國製にして最も精巧を極め十八金を厚く着せられば容易に剝脱變色の憂無く且つ優尙なる寶石を裝入しあり、優美秀麗なること無比なり上圖十二種各均一價格とし特別廉價を以て發賣仕候

地方御注文は代金振替貯金へ御拂込あれ代金小包郵便は前金五十錢御送附の事

宮内省御用達
東京市神田須田町
金田時計店
電話本局六九五番
振替口座三五六六番

赤のれん

は流行の半襟や御似合物をお安く願ひ升
總本店東京神田小川町(電話本局二八五三番)です

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南傳馬町七　大[illegible]社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區廣告社

現代唯一の歌學國文學參考書習字兼用書翰文範の巨擘二種

●故宮中御歌所寄人中郁秋香先生遺著●

不盡廼屋遺稿

寫眞版、コロタイプ版
三色版挿入書畫三十餘
裝幀　中村不折畫伯

菊大判全一冊　頗美裝　定價貳圓五十錢　小包料金十四錢　本月中特價金貳圓

故中郁秋香先生は一代の文豪也、而も歌文は當代獨歩の稱あり、本書は先生が遺稿を網羅せる者、謹嚴圓熟一糸亂れざる文章、味ふべく誦すべく文に志す者の絕好の模範なり、稿中短歌新體詩に至りては先生が獨得の妙所一句一首咸金玉の響あり、新派と舊派とを問はず苟も歌道に志すものゝ必ず繙かざるべからず、其他隨筆に雜錄に逸話、傳記に、孝證に、書簡に趣味汪溢、編中に挿入せる寫眞版、コロタイプ版、三色等三十餘個と相待つて先生の面目紙上に躍如たり、加之不折畫伯が苦心に成れる裝幀は眞に書架の珍とするに足る苟も文學を解する者、先生を知ると知らざるとを問はず必ず一本を座右に備へざるべからず。

女子消息文のゆきかひ

帝國大學文科教授　佐佐木信綱先生著
宮中御歌所寄人　大口鯛二先生書

本書は現代歌學の大家佐佐木信綱先生が多年苦心の末に成りたる消息文を優雅なる書體の師として鳴る大口鯛二先生が習字用にと特に大字に書かれたるものなり、先生が獨得の艶麗なる文章は簡單にして明瞭に而も文例盡く振假名付となし直ちに採りて實用に適す高尚優美なる製本は文と書と相俟ちて錦上更に花を添へたるが如し、世の令孃淑女方必ず一本を机上に備へざるべからざる絕好の女子消息文範なり。

鏑木清方意匠　木版上半紙摺　大和綴頗美本　定價金六十錢　郵稅金六錢

新體女子用文

女子大學教授　鹽井雨江先生著　小野鵞堂中村春堂兩先生書

本書は鹽井雨江先生が在來の書翰文の陳腐、冗長、輕薄、無趣味なる弊を打破せんとの苦心に成るもの、思藻の清新、眞情の流露、趣味の津々、眞に書翰文の好模範たり、上欄には諸種の手紙の作方をも示さる、書は斯道の大家小野鵞堂、中村春堂兩先生が靈妙の手腕を以て大字小字に書き分けられ特に振がな付にせられたる者にして其艶麗優美の筆は習字の龜鑑たり、斬新なる文筆と相俟つて明治新時代を飾るの書なるべし。

大倉耕濤意匠　木版上半紙摺　大和綴頗美本　定價七十五錢　郵稅金八錢

發兌　東京市京橋區中橋廣小路六番地　振替東京四一〇九　電京橋三七七　前川文榮閣

我國の聖書出たり

●『愛國婦人』會員之家庭には必ず本書を備へよ!!!

澁川玄耳說明　名取春仙編畫

古事記繪ばなし　日本の神樣

定價壹圓八拾錢　郵稅拾貳錢

四六倍判クロース金文字入美本紙箱入約三百頁三色版コロタイプ版、寫眞版、石版、木版、凸版、繪畫百數十個本文總色刷

◉最も新歩せる印刷法を應用せる◉

◉最も美麗なる各種の彩色畫◉

▲眼から注し込む國民教育の新著!!

一國民教育の基礎は、國史教育である。我が國の尊い有りがたいことが解れば、自然と我が國を愛する樣になるのである。

一『お話して頂戴よ、よウ』と、せがむ年頃、是が家庭に於ける、國史教育の絕好時期である。たゞ好奇心を滿すだけのお化話や、日本の風に合はない西洋種のお伽噺に代へて、未來の國民的戰士を作るため、此の本をすゝめる。

一此の『繪ばなし』は『日本の神樣』のあらゆる事蹟を最も新しい描き方に依つて百二十餘圖に作り、其れに簡易輕妙なる說明を加へたもので面白い玩具と、有益な教科書を兼ねて居る。

▲一個の玩具に代へて此書を與へよ!!

發行所　東京丸の内有樂町三丁目　電話本局二〇九五、三七八〇　振替貯金口座東京三三六〇〇　有樂社

●紀元節發賣!!!

明治四十四年二月十一日發行(毎月二回一日、十五日)(定價金三錢五厘一ヶ月金七錢郵稅不要)(廣告料一行金六拾錢)
發行兼印刷人山澤俊夫　編輯人竹内貞三
發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　●電話番町千七百四十五番　●同五百二十番
印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所　●振替貯金口座東京壹壹三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

▲評議員會及第十回總會準備委員會　去る一月二十五日本部樓上に於て第十回總會準備委員會を開催し、阿部副會長、濱尾作子、鬮郁子、柳谷千代子、原口せき子、押川愛子、下岡まつ子、大久保榮子、仁杉歌子、岡田德子、三井五十子、丹羽花子、龜井眞洲子、渡邊源子、松崎悅子の諸氏出席總會準備の件に付き種々協議されたり。

又同日午後一時半より評議員會を開き前記諸氏の外（但し三井五十子氏は所要の爲め歸宅）井伊增子、楢橋絢子、山脇房子、古市幸子、戸田時子、新山雅樂子の諸氏出席、朝鮮委員本部規則改正の件に付き評議ありたり。

▲解囑

右者今般願に依り解囑　敎養所幹事長　大原武慶

▲有功章其他贈與

福島支部安達郡幹事部事務員　穗積豐松
同　加藤篠壽
同　加藤四郎
同　安積郡幹事部事務員　國分淸助
同　尾崎專太郎
同　岩瀬郡幹事部事務員　中村又七郎
同　耶麻郡幹事部事務員　渡邊淸太郎
同　大沼郡同　三浦豐治
同　東白川郡同　杉原新伍
同　吉田庄太郎
同　西白川郡同　增田田忠
同　相馬郡同　今村敬明

功勞に依り特別謝狀並木杯一個贈與
福島支部耶麻郡幹事部　佐藤いち子
同　渡邊はる子

功勞に依り特別謝狀並扇子一本婦女鑑一冊贈與（以上十二月廿四日）
山形支部西田川郡幹事部委員　長澤惟賢
同　幹事　皆川久子

功績に依り二等有功章贈與
山形支部西田川郡鶴岡町　貫島常枝子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與
山形支部西田川郡十日町　上野淸瀨子

功績に依り三等有功章贈與
山形支部西田川郡稻生町　大戸繁子
同　鶴岡町　佐藤靈山

功績に依り三等有功章贈與（十二月廿六日）
宮崎支部西諸縣郡小林村　岩崎かつ子

功績に依り二等有功章贈與
同　赤木たけ子
同　岡本みき子

功績に依り三等有功章贈與
宮崎支部西諸縣郡幹事部幹事　佐土原町　松形かね子
同　黑木むね子
同　宮内ちよ子
同　齋藤つな子
同　上野みつ子

功勞に依り特別謝狀並婦女鑑一冊贈與
宮崎支部西諸縣郡幹事部幹事　川添ふたみ子
同　岩下かい子
同　友淸ひさ子

功勞に依り特別謝狀贈與（以上十二月廿七日）
青森支部西津輕郡森田村　盛熊四郎
同　柏村　山内ふで子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與
青森支部北津輕郡五所川原町　岩田こと子

功績に依り三等有功章贈與
青森支部西津輕郡木造町　葛西鱗平
同　高谷みつ子
同　森田村　山谷俊雄

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與（以上十二月二十七日）　和田友子

功績に依り三等有功章贈與（四十四年一月十一日）
島根支部評議員

功績に依り三等有功章贈與（一月二十日）
青森支部中津輕郡幹事部委員　工藤茂太郎
島根支部鹿足郡幹事部長　同　土肥こま子
同　同郡幹事部顧問　土肥忠雄

功績に依り三等有功章贈與
秋田支部南秋田郡幹事部事務員　横山淺五郎

功績に依り三等有功章贈與
島根支部八束郡幹事部委員　長澤儀太郎

功勞に依り特別謝狀並木杯一組贈與
同　飯石郡幹事部委員　飯島鶴太郎

功勞に依り特別謝狀贈與（以上一月廿四日）
岩手支部　溝江石瑋

功勞に依り特別謝狀並木杯一組贈與（一月二十七日）
山口支部元委員　岩政柳介

功績に依り三等有功章贈與
北海道支部幹事部長　野田とし子
同　幹事　鈴木ゆき子

功勞に依り特別謝狀並に婦女鑑一冊贈與（以上一月廿八日）
北海道支部幹事　岡本よし子
同　春日ふみ子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與（以上一月廿五日）
青森支部　原田佐治郎

功績に依り一等有功章贈與
愛知支部主事　高橋福三郎

愛知支部事務員　大島德太郎
同　村手喜多治
同　安井作太郎
愛知支部元幹事部顧問　栗本文雄
同　幹事部顧問　高木良輔
同　田中保太郎
同　村上金一郎
同　内田勝起

功績に依り二等有功章贈與
愛知支部元幹事部長　栗木鶴子
同幹事部長　高木きよ子
同　乾高麗子
同　田中てつ子
同　村上すみ子
同　上野貞子
同　島田勝子
同　内田嘉滿子

功績に依り三等有功章贈與（以上二月一日）

岩手支部

▲新年交賀會　當支部は岩手縣下に於ける婦人の新年廻禮を廢する目的にて婦人新年交賀會を主催し篤志看護婦岩手支會と協議し去月八日午後一時より日本赤十字社岩手支部樓上に開會せり、縣下の貴婦人にして會するもの百餘名、先づ君ヶ代の國歌を吹奏し一同之れに和し笠井支部長は新年の辭を述べて一同賀儀を交換す、續て手品浪花節薩摩琵琶等數番の餘興を催ふし最後に事務員の考案に係る興味ある寶引をなし和氣靄々の裡散會したるは午後四時なりき、新年交賀會は昨年初めて之を催し來會者各自の名刺を交換して廻禮を廢止し利便頗る多く且つ意思の疏通をなし尙一の娯樂會ともなりたれば贊成者年を逐て增加し益々盛大となるの趨勢を示せり。

▲西磐井郡幹事部總會　當部西磐井郡幹事部第一回總會を昨年十二月十七日一關町に於て開催す當日は天候險惡なりしにも拘らず會員四百二十九名及軍人遺族、癈兵百五十六名參列支部よりは笠井支部長、江崎評議員、宮地幹事、事務員一名出張列席せり來賓には田村子爵、原田後備海軍主計總監、阿部代議士、伊藤判事、佐土原胆澤郡幹事部長、同顧問、高橋幹事、各校長并各官衙其他地方の名望家、盛岡市四新聞記者等百六名なりき其概況を擧ぐれば場内正面壇上に

總裁宮殿下の御眞影を奉置し會場の内外には紅白の幔幕其他萬國旗等を以て裝飾を施し午後〇時三十分左の順序にて開會せり。（式順序略す）

又當日の祝答辭を擧ぐれば左の如し

●會長祝辭（代讀）

愛國婦人會岩手支部西磐井郡幹事部は本日第一回總會を開かる惟ふに當幹事部は會務の擴張と整理に努力せられ其効果として現在會員七百餘名に增加せしは吾等の欣喜に堪へざる處なり將來會務發展に伴ひ經營すべき事業少しとせず希くは諸氏益協心戮力あらんことを茲に開會に際し一言所思を陳して祝詞とす

●支部長祝詞（笠井支部長）

愛國婦人會岩手支部西磐井郡幹事部第一回總會に臨み諸姉と共に斯業の擴充を圖るは欣幸の極みなり惟ふに本會の事業は軍人遺族と癈兵との救護にあれは戰時と平時とを問はす常に心を斯業の擴張に注ぎ力を充實にして目的に添はんことを勉むへし當幹事部茲に總會を開き會員を鼓舞作興し益會務を擴張せらるゝは洵に義勇奉公の念に厚きものと云ふへく諸姉の成功は本會の發展期して待つへきなり茲に諸姉旣往の御盡力を謝し斯業前途の祝福を祈る

●祝詞（胆澤郡幹事部佐土原顧問）

愛國婦人會岩手支部西磐井郡幹事部第一回總會を開催せらるゝに方り不肖親則膽澤郡幹事部顧問たる故を以て此盛典に列する光榮を得たるは深く感謝する所なり抑も愛國婦人會の事業たる癈兵の撫恤遺族の慰問授產の救護等は單り軍國應急の處置として遺憾なきのみならず之に倚りて以て隣佐互助の情誼を厚うし生產作興の端を啓きて齊家の道を興へ一般婦民の尙武の氣象を鼓舞する等平時に於ける社會風敎上稗益する處多大なるは言を俟たずして明なり本郡幹事部今日の擧ある洵に其時期を得たるものにして將來の發展期して俟つべきなり一言所感を陳べて祝詞とす

●祝電

盛典ヲ賀シ不參ノ罪ヲ謝ス

愛國婦人會岩手支部上閉伊郡幹事部長　中野峯子
同　顧問　中野協議

●祝電

總會を祝す

愛國婦人會岩手支部東磐井郡幹事部顧問　細川荒雄

●答辭（幹事部長澤田鈴子）

本日愛國婦人會岩手支部西磐井郡幹事部第一回總會を開くに方り親しく支部長の臨場を辱ふし御懇篤なる御諭旨を賜はりたるは當幹事部の光榮にして欣喜に堪へざる所なり今日より層一層勉め勵みて會務の發展を圖り以て御諭旨に副はんことを期す茲に會員一同に代り一言以て答辭とす

●癈兵總代謝辭（伊藤喜志治）

軍人の職に臨むや素より生還を期せず只一死以て君恩に答ふるを知るのみ故に日淸日露の戰役に於ける我將卒は陸に海に勇進酣戰克く捷を制したるは一に天皇陛下の御稜威の致す所なりと雖も亦國民後援の力なくんば何そ能く今日の光輝を見るを得んや今や聖恩枯骨に及び感極りて言ふ所を知らす本日愛國婦人會岩手支部第一回總會に參列の榮を荷ひ加ふるに支部長より御菓子料を賜はる我等一同感泣措く能はざる所なり茲に軍人遺族癈兵を代表し一言以て謝辭とす

●決議

本會幹事部幹事及會員一致協力本郡女子人口三十人に對し會員一人以上に達する迄增募し且つ其會費の整理を全ふし以て本會の趣旨の實行に努力すること

式終りて午後一時三十分豫て設けある餘興場に案内し一同着席するや幹事及事務員座間を斡旋して記念品及辨當酒肴の折詰を配布し數番の餘興を觀覽せしめ各自觀を盡くして散會せしは午後三時半なり。

本會は客月に至り俄に計畫したるも豫想以上の効果を得左の議案（前掲）を可決し會員の本分を盡さんと相互相戒め益意志を鞏固ならしめたり

午後四時半より來賓一同を淸風亭に招待し晩餐會を催ふし澤田顧問の開會の辭佐土原胆澤郡幹事部顧問の挨拶あり平田前代議士郡内招待員を代表して謝辭あり和氣靄々裡に散會したるは午後七時半なりき

▲明治四十三年度事務成績報告

一、會員の增減　本年中入會者九拾六人にして退會死亡轉出等八拾七人差引增加數僅に九人なりしは遺憾とする所なり

一、職員の異同　町村幹事囑託十七人解囑十六人其他の囑託八十一人解囑六十七人

一、定期救護　本部配當救護金千四百貳拾八圓に支部救護金五百九拾六圓を加へ遺族、癈兵三百十七名に對し最高額拾圓最低額四圓の割合を以て贈與したり

一、臨時救護　八、九月兩度の大洪水災罹遺族、癈兵五拾八名に對し本會長より金參圓づゝ贈與せられたり

一、敎養生選出　調査の上遺族子弟一名を推選三月中入所せしめたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、討蕃隊及遺族癈兵慰問　臺灣生蕃討伐隊の勞苦を慰藉せんが爲め會員の同情を求め慰問袋二百拾貳個を寄贈したり

五月六日縣社八幡社内に於て招魂祭執行に際し遺族三百五拾餘名に茶菓を供したり

同月八日稗貫郡幹事部に於て招魂祭に遺族、癈兵を招き記念品を贈り饗應を爲したり

十月廿三日笠井支部長には宮地主事を隨へ遺族、癈兵慰問の爲め二戸郡へ出張し福岡町外三町村の遺族、癈兵の各家を歷訪し慰問を爲したり

一、總會其他の集會

一月四日婦人新年交賀會を赤十字社岩手支部樓上に開き百有餘名參會あり餘興實引等にて盛會を極めたり

一月廿七日評議會

八月二日東磐井郡長坂村第一回總會

十月一、二日稗貫郡幹事部にて遺族癈兵慰藉并水害罹災窮民救助の目的を以て慈善演藝會

十一月廿三日東磐井郡幹事部第一回總會

十二月十七日西磐井郡幹事部第一回總會

一、有功章其他贈與

三等有功章　十一人

謝狀　五十八人

熊本支部

▲本年初會　當支部本年の初會は去る一月六日午後零時半より縣會議場に於て開催したるが來會者は川路顧問、石川、大海原の兩相談役、川路支部長、木越評議員を始め幹事以下會員九百餘名、支部よりは河内山主事以下事務員出席し、來賓には侯爵令妹細川靜子氏、縣高等官、新聞記者、僧侶、有志家等三十餘名に達し頗る盛況を極めたり、定刻に至るや河内山主事開會の旨を報じ、御眞影の覆を撤して一同最敬禮奉拜の式を行ひ、此間君ケ代の奏樂あり、次に川路支部長及木越評議員の挨拶、終りて川路顧問は本會に對する一場の希望を述べ、次に河内山主事四十三年中の事務及會計等庶務を報告し、續て前支部長江木中子及押川愛子兩氏の祝電披露あり、之れにて式を終り一同記念撮影をなし、最後に長尾氏及尾藤氏の歷史講談數番あり大に會衆の喝采を拍したり、夫れよりふく袋及菓子袋の配付を受け一同十二分に親睦して散會せしは午後四時頃なりき。

德島支部

▲新年互禮會　一月五日德島公園内千秋閣に於て本會及篤志看護婦人會、將校婦人會の三會員合同新年互禮會を開催せり參列者は渡邊顧問、堀内相談役、講師には古川醫學博士、吉田工業學校長、寄藤高等女學校長、岡本欺文翁、能仁達朗氏婦人には渡邊支部長、太田將校婦人會支部長以下三會職員會員等百三十餘名にして一同着席するや永田主事は開會の辭に加へ會務に關する希望演說をなし、渡邊支部長の祝詞に次ぎ一同最敬禮の内に渡邊顧問は恭しく戊申詔書を奉讀し次に來賓の演說あり宴に移り落語手品等の餘興ありて閉會したるが頗る盛會なりき。

▲慰問袋募集　當地駐屯步兵第六十二聯隊は現下滿洲守備として旅順口に駐劄せるが豫て當支部は右駐劄軍將卒の艱苦を慰藉する爲め慰問品寄贈の計圖中なりしが時恰も本部は臺灣生蕃討伐隊に對し慰問袋寄贈の擧あり就ては當支部へも之が募集方の委囑を受けたるを以て前計畫を後廻しとし臺灣討伐隊への寄贈を先にし廣く有志の同情を乞ひ應募奬勵の結果良好の成績を得たるを以て尙引續き八月初旬より前記第六十二聯隊の慰問品募集に努めたるに是亦非常の好成績にして應募者千四百餘人此寄贈袋數一千七百個に達せしを以て之が運送方を第十一師團司令部に委託し送付の手續を爲したり募集方法は左の如し。

一、慰問袋は凡て在滿洲步兵第六十二聯隊へ寄贈すること。

一、慰問袋の内容品は各自の適宜とし可成軍人に取り便益なるものを選び其價格を二十錢と定む。

一、現金寄贈の場合は支部に取纏め適當の物品を購入すること。

一、聯隊將卒にして縣内各郡市別出身人員其他府縣出身人員を調查し人員に應じ慰問袋を郡市に配當し募集すること。

一、慰問袋は郡に在ては郡幹事部、市に在ては市内各幹事の手許に於て取纏め支部に提出すること。

一、慰問袋の締切期日を八月三十一日限りとす。

佐賀支部

▲三里村委員部總會　當支部小城郡三里村委員部に於ては會務整理の目的を以て一月十五日正午より第三回總會を同村尋常高等小學校内に開會出席會員六十餘名にして委員部幹事陳内菊千代開會の辭を述べ支部長(山村主事取扱代理)の祝詞に次で小城郡長酒井幹事部顧問は本會の趣旨及婦人就中會員の心得等に付約一時間に亘り詳細演舌せられ大に感動を與へたり之れにて一應休憩再び開會山村主事々務取扱は本會々員の現狀及創立以來施行しつゝある救護事業の狀態並本部と各支部に於ける資金の現在保管方法等に就き數學的に報告を兼ね詳說する所あり會員をして了解せしめたり次に同村長陳内嚴氏亦一場の演舌をなし最後に成富同村事務員は委員部の庶務會計を報告し之れにて陳内幹事閉會の挨拶をなし終て會員一同に茶菓を饗し散會したるは午後五時過ぎなりしも村内各部落の重なる會員は漏れなく出席したるを以て本會に關する疑點等に就ても了得する所あり將來諸事圓滿に進行すべし。

北海道支部

▲齒舞委員部總會　舊臘十二月十七日根室幹事部内齒舞委員部に於て第二回總會を開く、其の狀況左の如し。

一、開會の場所及來會者數　花咲郡齒舞村齒舞小學校に於て午後二時開會、來會者三十二名

二、開會順序其他

一、着席　二、修禮　三、開會の辭　四、唱歌君ケ代　五、總裁殿下御影開扉　六、戊申詔書捧讀　七、御諭旨捧讀　八、支部長祝辭(代讀)　九、根室幹事部長祝辭(代讀)　十、一般來賓祝辭演說　十一、委員答辭　十二、御影閉扉　十三、修禮　十四、退席

式後來會者一同に茶菓を供し蓄音器の餘興等あり午後五時散會せり本日の總會に於て會旨に贊同し新に入會したるもの通常會員六名、其他會務整理上利益ありしを認む。

島根支部

▲明治四十三年度定期救護金贈與人員及金額

幹事部名	金額	人員	種別
松江	百十七圓	十二人	丙八人 丁四人
八束	百七十八圓	廿四人	丙廿二人 丁二人
能義	百九十八圓	卅三人	丙廿七人 丁六人
仁多	九十圓	十一人	丙八人 丁三人
大原	百八十八圓	廿五人	丙廿二人 丁三人
飯石	二百八十七圓	廿七人	丙十五人 丁十二人
簸川	五百四圓	六十六人	丙四十九人 丁十七人
安濃	五十二圓	七人	丙六人 丁一人
邇摩	卅七圓	七人	丙七人
邑智	四十圓	七人	丙七人
那賀	三百九十五圓	四十二人	丙廿四人 丁十八人
美濃	二百卅三圓	廿九人	丙廿一人 丁八人
鹿足	五十一圓	九人	丙九人
隱岐	二百十八圓	廿四人	丙十四人 丁十人
計	金額二千五百八十八圓	人員三百廿三人	丙二百三十七人 丁八十六人

但し丙種のものに對しては金四圓及七圓、丁種のものには十二圓及十六圓の二種に區別して贈與したるものなり。

山口支部

▲幻燈會　當支部に於ては從來の未納醵金を整理且つ會務の擴張を圖らんため各幹事部をして漸次總會を開催せしむる事とし、既に玖珂郡幹事部内岩國町外七ケ村に於ては一月十日總會を開くに至り、支部よりは主事及事務員を派遣し總會の前夜幻燈會を開き軍人遺族並癈兵の各自職業に從事して生計を營む狀況を映寫して觀覽せしめたるが來會者の多數に非常の感動を與へ就中映寫したる幻燈の内に自村の出身者ある場合は衆會員一層の感に打たれ涙を流す者あるに至れり、此の幻燈會は多大の効果は擧げ得たりと信ず。

追て幻燈會開會の當初に於て主事は本會の趣旨及軍人遺族癈兵に對する本部救護の現況並當支部に於て實行せる救護方法等を具體的に說明し術事務員は映寫せし幻燈に付き一々說明を施したり、且幻燈寫影終了後引續日露戰役に於る激戰二三の活動寫眞を觀覽せしめたり、每回の來會者は會員の家族及會員の紹介を經たる婦女子其他赤十字社員等にして多きは二千五六百人少きも五六百人以上ありたり。

▲幹事區總會　當部管内玖珂郡幹事部は醵金未納整理及會員增募の爲め各左記の通り受持幹事區總會を開催せり、今其の總會の概況を擧ぐれば會場入口には國旗を交叉し式場には總裁宮殿下の御尊影を揭け受持幹事開會を宣告し續て事務の報告あり幹事部長の告辭は顧問之を代讀し山室主事の祝詞受持幹事答辭等肅に式を終りたる後會員一同に茶菓を饗し其間當支部より携帶したる軍人遺族及癈兵の寫眞帖を一同に觀覽せしめたる上山室主事は該帖に付き軍人遺族の生計に對する救護方法及癈兵生業扶助を受けし實況等を具さに演述し以て本會の行動及趣旨等を懇に會得せしめたり。

總會日	會員	新募會員	女子人口百人に對する歩合	幹事區名
十二月十一日	一五九人	一一人	一四、二六	新庄村
同十三日	一二六	一一	一四、一九	和木村
同十五日	一六六	四	一三、〇四	小瀨村
同十六日	二五八	二六	四、一二	岩國村
同十八日	一六一	七	六、〇二	玖珂村
同十九日	四〇	三	二、五〇	北河内村
同二十日	三二	八	一、六三	桑根村
同二十二日	一五	四	一、五一	深須村

愛國婦人第二百十九號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹内貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN